

四万十

4

No.96



いのちを守る

下田水戸津波避難ツインタワー完成。

東日本大震災後の最大クラス津波高予想を受け、従来のタワー(高さ6m)の隣に2基目のタワー(高さ9m、海拔18.6m)を建設し、連結させました。両方合わせて約320人収容可能。最上段にはライフジャケットも格納しています。

また、八東山路地区には、介護福祉施設が近くにあることから、ゴンドラ設備搭載タワーを建設しました。

いずれも、県下で初めての構造のタワーです。

今月の主な内容

Contents

- ▶ 市長施政方針 3
- ▶ 四万十市 平成25年度 当初予算 8
- ▶ 水戸・山路地区 津波避難タワー完成 10
- ▶ 西土佐総合支所等庁舎の建設進む 11
- ▶ 市民病院 医師紹介 15
- ▶ 脳ドック検診費用助成 18
- ▶ 「遅咲きのヒマワリ」続編要望署名活動 32

市役所駐車場

24時間開放

4月から本実施に移行

市役所駐車場は昨年12月1日から本年3月31日まで、24時間開放を試験的に実施してきましたが、それにより生じた問題点など、関係機関・団体等の意見をお聞きするとともに、市業務への影響なども検証した結果、駐車場所への適正な駐車と利用者相互の大きな問題もなく、中心市街地の活性化などにつながるという評価であることから、4月1日から本実施に移行しました。



スマートフォン用 アプリケーションソフト 「四万十なび」完成

四万十市は、スマートフォン(多機能携帯電話)を見ながら街歩きができるアプリケーションソフトを産官協同で開発し、今年3月からサービス(無料)を開始しました。

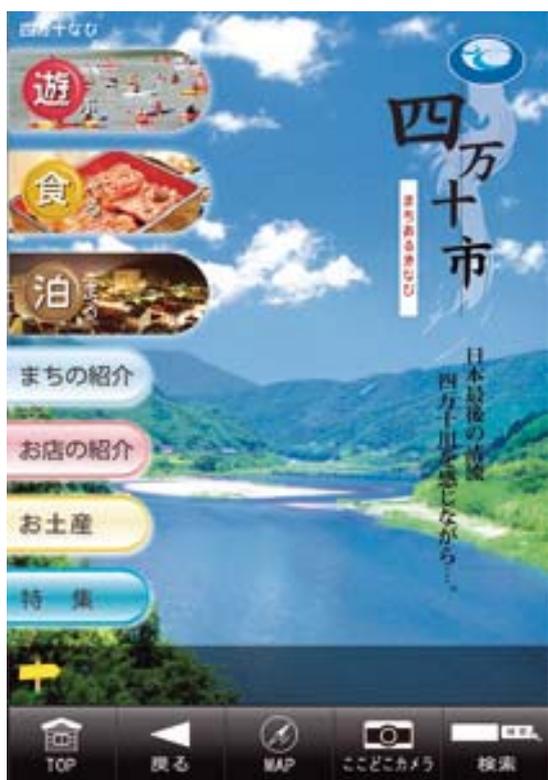
2010年には、NHKで放送されたドラマ『龍馬伝』のブームの後押しもあり、同市の観光客は前年比の54%増の約147万人でしたが、宿泊者数は同3%増の約19万人に留まりました。本市では宿泊施設宿泊施設や飲食店などが集

【問い合わせ先】
(市)商工課 ☎(34)1126

まる中心市街地への観光客誘導が課題となっています。

スマートフォンでの試みで、ビスは、県内では初めての試みで、史跡解説のほか、観光スポットや飲食店、特産品などを地図とともに提供し、観光地と中心市街地を繋げるルートを紹介します。

一人で初めて四万十市に訪れた観光客も迷わず、安心して街歩きが出来ることを目指し、観光客を中心市街地へ呼び込みたいと考えていますので、ぜひ皆さまもご利用ください。



歴史の窓

下田砲台跡

次なる外敵は津波です。表紙の津波避難ツインタワーが建っているのは、この場所であり、案内板には以下のように書かれています。(抜粋)

この地は、嘉永6年(1853年)、水戸地区に築造された大砲を据える台座(台場)跡です。鎖国状態にあった日本に欧米の列強国が開国を迫ったため、幕府は危機感を募らせ、各地に台場を急造させて海防強化を図りました。

幡多地域でも、長崎で当時最先端の砲術を学んだ中村出身の砲学者樋口真吉が指揮をとり、千人を超える人夫が動員されて、多くの台場が構築されたという記録が残っています。

下田には、2基築造されたと思われる記述があり、その規模は、外周182メートルとされており、他の幡多地域の台場に比べても大きなものでした。

安政元年(1854年)8月には、訓練が実施されており、下田の港を守る重要な役割を担っていたことが想像されます。



平成25年3月市議会定例会

市長施政方針

(所信)

私の原点

ふるさとかつての賑わいと活力を取り戻したい ― これが私の原点です。

過去、わがふるさとのシンボルである「おまち中村」の繁栄を支えていたのが周辺地域です。両者は「里も栄えて街も栄える」、共存共栄の関係にありました。

しかしながら、今はお互いの地域そのものが多くの困難を抱え、必死で踏ん張っています。この「地域を守る」こと、これが私の市政運営の最大目標です。

私は、この4年間、「対話を大切に市民の力を引き出す」、「弱い立場の人を応援する」、「地元でできるものは地元で」、「四万十川を再生する環境・産業を育む」、「幡多の歴史・文化を育む」の5つを基本姿勢として、これに取り組んできました。

その集大成の一つといえるのが、健康福祉地域推進事業です。山間地、まちなか共通に、高齢化が進む中で、住み慣れ

た地域で誰もが安心して暮らし続けられるよう、市はいま地域のみなさんと一緒になって、各地区で健康福祉委員会の設立を進めています。健康づくり、介護予防・生きがい交流、支え合いの地域づくり、が事業の三本柱です。

地域の力を引き出すこの事業は、平成22年度から地域づくり支援職員を配置し、地域の課題の掘り起こし作業を行う中で、方向が見えてきたものです。

市民の命や健康を守っていくためには、市民病院は絶対に必要であり、この間、医師の確保に奔走してきました。

その結果、脳ドックが始まり、医師が地域に出向き、健診に参加するまでにしました。病院収支も大幅に改善しています。また、歯科医師会との連携で口腔ケア事業も始めています。

仕事や雇用をつくり、地域内循環による経済振興を図るためには、農商工連携、市産材利用促進、四万十ヒノキブランド化などの事業開始のほか、公共事業の地元発注の原則を貫いています。

中山間地域の足を守るために、公共交通システムを見直し、電話予約で迎えに行くデマンドバス、タクシーも導入。

外との交流人口の拡大を図るために、移住促進のほか、ふるさと応援団、地域

おこし協力隊の募集も始めました。

そして、何と言っても、災害から「地域を守る」ための対策として、東日本大震災を受け、地震津波対策に緊急かつ最重要課題として取り組んでいます。

国政においては、新政権がデフレ、円高からの脱却を図るとして大型補正予算を組むなど、大胆な経済政策を打ち出していることは期待が大きい反面、国債発行額は実質52兆円にふくらむなど、国の財政状況は厳しさを増す中で、消費税の引き上げが近づいているほか、医療、介護、年金といった社会保障制度の再編

など、極めて重要な課題については不透明であり、不安がぬぐえません。私は、この4年間、「地域を守る」ための基盤づくりに努めてきた結果、まだまだ課題は山積していますが、目指すべき方向には確かな手ごたえを感じています。

今後は、これまでの取り組みにさらに磨きをかけるとともに、なかなか前に進まない中心市街地活性化策や、これとも関連する本市にふさわしい文化センターの建設課題などに重点的に取り組んでいき、「里も栄えて街も栄える」四万十市をめざして、これまで以上に全力を傾注していく決意です。

市長日誌 2月16日～3月15日

- 2月16日 県西部郵便局長会
- 18日 市政懇談会(西富山活性化センター)
- 19日 市政懇談会(かわらっこ)
- 20日 県道鞍ヶ市松野線改良促進期成同盟会、幡多土木事務所要望
- 21日 四万十川財団協議(四万十町)
- 21日 幡多地域観光キャンペーン実行委員会
- 21日 四万十市区長会設立総会
- 22日 田野川甲地区要望受
- 23日 市政懇談会(大宮中生活改善センター)
- 23日 シンポジウム「しくくジビエ王国と四万十川流域」
- 24日 とみやま梅の里祭り
- 24日 体育協会親睦運動会
- 24日 一條太鼓定期演奏会
- 25日 市政懇談会(公民館鴨川分館)
- 25日 下田地区防災拠点基地計画説明会
- 26日 当初予算記者発表
- 26日 四万十市環境審議会答申受
- 26日 市政懇談会(屋内公民館)
- 27日 雇用創造促進協議会成果品公開セミナー
- 27日 幡多広域市町村圏事務組合議会
- 28日 JA高知はた中村支所青壮年部との対話集会
- 3月1日 市政懇談会(西土佐ふれあいホール)
- 2日 中村高校、幡多農高卒業式
- 2日 働く婦人の家まつり
- 4日 3月市議会定例会開会(～19日)
- 6日 西土佐地区区長会要望受
- 6日 四万十市障害者グラウンドゴルフ大会
- 9日 黒潮医療専門学校卒業式
- 10日 四万十市観光開き
- 10日 古津賀2丁目集会所落成式
- 12日 下田水戸避難ツインタワー落成式
- 14日 幡多自然エネルギー研究会
- 15日 四万十市シルバークラス閉級式
- 15日 市議会教育民生常任委員会
- 15日 中村市森林組合総代会

平成25年度 主要事業

(要旨)

災害に強いまちづくり

―地域防災

地震・津波対策―3つの柱

一、津波から市民の命を守る対策

地震、津波による甚大な被害が想定される下田、八束地区において、大規模災害時の復旧・救援活動並びに収容避難所の機能を有する複合的な施設を整備するエリアを定め、本市オリジナルの考え方で「防災拠点基地」と位置付け、事業展開を図っていく。これは、活動拠点施設や備蓄倉庫、非常電源設備、防災広場、ヘリポートといった機能を集約させ、一体的に整備することで、大規模災害時の復旧・救援・復興の機動性を高めようとするもの。

八束地区は四万十カントリークラブ(海拔63m)の一部用地を活用させていた。大きく構想。海拔6・5mの八束保育所の移転を検討している。

下田地区は、下田中学校の体育館や医学研究所を中心に、土佐西南大規模公園を含めて、地元や関係機関との調整、協議を進めていきたい。

津波避難タワーは、県下初の取り組みとして二つの方法で事業展開を図る。

一つ目は、高さに不安のある既存の水戸、初崎のタワーをもう一段高いタワーに隣

接させる「ツインタワー方式」とする。二つ目は、高齢者や障害を持つ要援護者対策として、山路地区に「手巻きゴンドラ設備」を有するタワーを建設している。津波避難道の整備は、下田、八束、古津賀地区を対象に、本年度20路線を、来年度50路線の整備を図り、残る路線と合わせ、平成26年度末までの3か年で完了したい。



竹島小学校 外付階段

二、建物の倒壊から市民の命を守る対策

これまで3千円の自己負担が必要であった木造住宅の耐震診断について、県下で初めてこれを無償化することにした。これに伴い、耐震設計及び工事への移行を促進させ、耐震化率の向上と加速化を図れるものと期待している。

三、地震災害に強い組織をつくる対策

(1) 地震防災課を設置する。
(2) 消防団の報酬額を増額する。
(3) 自主防災組織は、今年度新たに古津賀、中村東町3丁目、楠島団地で設立。組織率は97・1%に向上したが、100%をめざす。

命を守る道路網の整備

高速道路は、佐賀く四万十間は未だ事業化されていないので、早期に事業化が図られるよう、引き続き関係機関に対し強く要望していく。

国道441号は、昨年12月に川登バイパスが開通。網代工区3・1kmも来年度末の供用開始を目指している。残る「西土佐道路(仮称)」にも概略設計に取り組んでいる。国道439号は、昨年度に引き続き少額ではあるものの予算付けがされた。国道321号も実崎工区は本年度末の完成を予定、山路工区も設計や用地調査に取り組んでいる。

県道整備は、有岡川登線、安並佐岡線、川登中村線、西土佐松野線、薮ヶ市松野線を、市道整備は、具同坂本線、具同三里線、天神橋通線、旭通線、平和通線、白岩用井線、市野々線、藤ノ川線の道路整備に取り組む。

河川・港湾・海岸ダムの整備

河川改修では、不破上流工区・下流工区の堤防事業は順調に進んでいる。具同・入田地区では、堤防の断面が確保さ

れていない区間(延長1240m)の堤防拡幅事業に取り組む。

下田港は、港湾改修事業により新航路の防波堤の整備を進めている。河口砂州については、高知県において導流堤先端のブロックの移設工事が完了し、河床復元工事についても、国土交通省の河川掘削に伴う残土の協力も受け、本年度末の完成を予定している。

横瀬川ダム建設事業は、1月25日、国土交通省において建設継続が決定された。



国道441号 川登バイパス開通

水道、公共下水道事業による防災力の強化

上水道については、震災対策に重点を置き、老朽管を耐震管に敷設替えするとともに、震災時の飲料水の確保を目的とした耐震性貯水槽の設置に取り組む。

西土佐総合支所と消防分署の建設

既存施設の解体工事は完了。引き続き、本年7月頃を目途に建設地の整備を進める。現総合支所を残したまま、新総合支所庁舎棟や消防訓練塔を建設し、その後現総合支所を解体し消防分署庁舎棟を建設する計画で、平成26年度の下半期の完成を目指す。

学校教育施設の耐震化と整備

中村小学校改築事業は、11月頃には全ての工事が完了。校舎の耐震化は来年度の西土佐中学校補強工事をもって完了。引き続き、下田・八東・蔵岡中学校の体育館改築工事に着手する。

住みよいまちづくり

—環境・基盤整備

地域公共交通

デマンド交通(ふれ愛号、ふれ愛タクシー)は、西土佐地域、後川地区の一部、富山・蔵岡両地区での実証運行を踏まえ、本年4月から本格運行に移行したい。西南交通が運行する生活路線バス等では、口屋内線の一本化をはじめ、下田線の日祝日の双海・平野循環便を増やすことや、中村まちバスの一日の運行時間を7時間から8・5時間に拡大するなどの利便性の向上を図る一方、利用者が極端に少ない路線廃止や下田線の朝・夕の一部時間帯の運行距離の短縮などの見直しも行う予定。今後は、八束地区の交通空白地域の解消など、交通弱

者の移動手段の確保を図る。

ごみ減量・資源化対策

市一般廃棄物処理基本計画に基づき取り組みを進めており、対前年12月末現在、ごみ排出量は約9640トンで140トン程度が減少し、一方リサイクル率は10・15%とほぼ同率で推移している。



西土佐総合支所 完成イメージ

再生可能エネルギー対策

昨年度の西土佐小学校に続き、本年度、中村小学校に太陽光発電システムを設置したほか、建設予定の西土佐総合支所にも計画している。

高齢者免許返納サポート

運転免許証を返納した際、運転免許経

歴証明書をサポート協力店で提示することにより、様々な割引サービスを受けることができるようにする。

活力あるまちづくり

—雇用・産業振興

中心市街地活性化

天神橋商店街は、テレビドラマ「遅咲きのヒマワリ」の中で「四万十の新宿」と呼ばれ、商店街の再生に向けて奔走する若者も描かれた。まちなかへの「回遊性」の確保・復元については、市有地となった旧土豫銀行跡地を、周辺(天神橋、愛宕町)を含めて再開発することにより、新しい街並みをつくり、その中核に、ミニシアター、小ホール、展示スペースなどの機能をあわせてもつ施設を置くことで解決できるのではないかと思っている。

天神橋商店街では、ドラマブームを受けて、「ひまわり応援隊」をつくり、ロケ地マップの作成のほか、アーケード内をヒマワリデザインで統一するなど商店街活性化に向けた機運が高まっているので、こうした市街地再開発の方向性について、地元地区や商店街等と協議を進めていきたい。

「ひまわり応援隊」が始めたドラマの続編制作要望の署名活動にはドラマ支援委員会(事務局・市観光課)も今後一体となって取り組んでいく。

幡多地域観光キャンペーン

高知自動車道の延伸に伴う幡多地域への誘客を促進する手立てとして、県と幡多6市町村が一体となって、7月から12月まで、観光キャンペーンを実施する。



デマンドバス ふれ愛号

西土佐道の駅の整備

施設は、現在の「ふるさと市」を拡充する形で消防分署跡地とその周辺を含めた位置に整備する計画で、道の駅の機能としては、①地域の野菜や加工品の直売、②地域内の公共施設等へ食材供給を行う地産地消の拠点、③県内外へ外販活動を行う地産外商の拠点、④西土佐の施設ならではの「目玉」として「四万十川あゆ市場」の開設、⑤地域の商店やイベントとの連携を図る地域活性化の拠点、⑥大震災を想定した防災の拠点、などを柱として検討している。

平成27年度中のオープンを目指して、地域施設への食材供給や外販活動の機能強化など、開設準備に取り組んでいる。



市街地再開発(愛宕町、中劇跡地)

林業振興

四万十市産材利用促進事業を平成23年度から2か年継続して実施しているが、25年度はこの制度に加えて、住宅リフォームに対しても補助を行なう方向で検討をしている。

内水面漁業振興

高知大学連携事業では、今後も河川環境調査とノリの生長環境を人工的に整える河川生育試験等を組み合わせる中で、汽水域で起こる様々な環境変化を調査していくと同時に生産量の向上につながる手立てを採っていく。

雇用対策事業の継続

緊急雇用創出臨時特例基金事業を活用し、31事業、約1億6千万円の事業規模で、新規雇用失業者52名の雇用を計画。新しいメニューとして「起業支援型地域雇用創造事業」を今議会に提案。

また、継続的な雇用創出を図るものとして、高知県産業振興推進ふるさと雇用事業を活用し、14事業、約1億3700万円の規模で、新規雇用失業者29名の雇用を計画している。

健康長寿のまちづくり

— 保健・医療・福祉

市民病院

昨年度と比べ約9400万円の大幅な収支改善。医業収益が約20億1100万

円の見込みで、昨年度に比べると約1億4300万円の増収見込みとなっており、このことが収支の改善につながっている。昨年4月に内科医師1名、9月には泌尿器科医師1名の招聘により患者数が増えたことが大きい。さらに、この度、自治医科大学出身の内科医師(40歳)が4月から着任することになった。これで常勤医師数は11名となる。また、「市民病院経営健全化計画」を、来年度からの3か年計画として現在策定を進めている。

四万十市急患センター

幡多地域における救急医療は、夜間外来受診は、幡多けんみん病院へ集中する傾向が大きくなっており、同病院の二次救急医療体制維持への影響が懸念される状況になっている。幡多医師会、薬剤師会、幡多福祉保健所、市民病院、幡多中央消防組合、黒潮町関係機関の代表者が参加する研究会を立ち上げ、なるべく早い時期に四万十市に急患センターを設置する必要性があることで意見集約を行っている。

健康福祉地域推進事業

現時点で、すでに87地区において取り組みが行われている。来年度は、未設置地区に対しても、社会福祉協議会等の関係機関との連携を図りながら、事業実施につながるよう積極的な呼びかけに努める。

活き活き訪問健診・健康相談事業

昨年8月から予防医学に携わる市民病

院と健康増進対策を促進する保健介護課が連携し、医師による問診や健康相談を行っている。2月末現在、23地区で40歳から95歳までの方々314名(平均76歳)が参加。来年度も引き続き実施する。



市民病院 健康フェア

歯科口腔保健事業

昨年度、本年度の2か年にわたり、歯科医師会、歯科衛生士会と連携し「高齢者在宅口腔ケア事業」を実施しており、今後は、青年、壮年期への口腔検診を行うことにより、むし歯や歯周病の早期発見、早期治療を支援していくことで、生涯にわたり、元気で食べ、明るく話し合える歯と口の健康づくりを推進していく。

高齢者福祉

「高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画」に基づき、来年度は、地域包括ケア

農業振興

地域農業の維持発展には新規就農者の確保が重要な課題。四万十農園と西土佐農業公社で研修生9人を受入れるほか、実践農家での研修を通じて7人の農業後継者を育成。

集落営農の推進は、来年度は4組織が実施するコンバイン、乾燥機、糶摺り機などの農業用機械導入の補助を計画。農地の基盤整備は、入田地区では事業計画が決定され、平成29年度完成に向け来年度から事業に着手する。また、利岡地区と三里地区では、計画概要書の作成が完了し、早期に事業着手できるように地元や関係機関と調整していく。

の一層の推進を図るため、地域密着型サービス事業所の整備促進に対する支援を行う。

心の健康相談センター

昨年度、「心の健康」の総合的な窓口を福祉事務所内に置き、従来の統合失調症を中心とした精神障害だけではなく、発達障害、うつ、ひきこもり等幅広く対象とし、相談・支援を行っているところだが、来年度からは、これらの機能を拡充させるため、福祉事務所内に「心の健康相談センター」を設ける。



地域おこし協力隊

絆を結ぶまちづくり

— 対話と協調 —

区長会の統合
中村地域と西土佐地域の区長会が2月21日に統合、正式に「四万十市区長会」が設立した。

移住支援

平成21年度から23年度において、お世話をした実績は、24件、59名。本年度は、2月末現在、37件の相談を受け、8件、15名の移住支援に成功。

集落活動センター

大宮地区では4月にセンターの設立を予定。複数の集落が連携する支え合いの仕組みづくりとして、本市として初のケースとなる。中組、口屋内集落でも地域集落再生事業に取り組んでいる。こうした取り組みをサポートするためにも、地域おこし協力隊を今年度に続き、来年度も同数の3名を採用することとし、応募受付を終え、現在選考中。

総合計画策定

来年度は、計画策定方針や策定体制等の準備を整え、6月頃から本格的に策定業務をはじめ、26年度中の策定を目指す。

ふるさと納税、応援団

平成20年10月に制度を開始して以来、累計で625件、1600万円余り。特に本年度は、2月末日現在で433件、678万5千円と、前年度までと比較し

大幅に増加している。3月1日現在、ふるさと応援団員1270人、フェイスクブック「いいね」(友達)が780人。今後も「ふるさと」を応援する輪がさらに広がるよう、ともに積極的にPRしていく。

誇りをもったまちづくり

— 歴史・文化・教育 —

文化センター建設

平成24年度からは、市内各層に参加をいただいて「文化の入れもの研究会」を立ち上げ、本市にふさわしい文化施設とはどのような機能や役割を持つべきか等について議論を始めたところであり、近い将来の文化センター建設事業に必要なことからも、まず建設資金の確保が必要なことから、来年度から文化センター建設基金の造成に着手をする。

武道館建設

今月中に実施設計が完成。来年度は引き続き本体工事に着手することとし、年度内に完成する。

新・しまんと男女共同参画プラン

20年度から10年間を計画期間とし、各種施策を計画的に推進してきたが、5年が経過したので、見直し作業を進めている。

行政改革推進

26年度には新たな行政改革の大綱及び推進計画を策定したいので、附属機関の設置議案を本議会に提案している。

市役所駐車場24時間開放

昨年12月1日から3月31日までの間、試行的に24時間開放を行っているが、特段問題が無ければ、4月から本実施に移行したい。



文化センター建設事業

市長等の退職手当減額

昨年11月に、国家公務員退職手当法の一部が改正され、今年度から国家公務員の退職手当を段階的に減額し、平成27年1月以降は、支給水準を約15%削減することが決定されたので、市長・副市長・教育長の退職手当を職員に先んじて、同率を減額する。

安心・安全・支え合い

四万十市平成25年度当初予算 総額299億円

■概要

平成25年度当初予算は、5月が市長改選期となるので、「骨格予算」として編成する一方で、「安心、安全、支え合いのまちづくり」をテーマに、雇用や防災対策など緊急性・重要性の高い事業の予算化や、これまでの継続性を図りながら予算編成を行いました。

また、国の補正予算などを積極的に取り入れ、平成25年度以降実施を予定していた事業を可能な限り平成24年度3月補正予算(28億3611万円)に前倒し計上しています。

この中で、地震・防災対策関連事業は、平成24年度3月補正予算前倒し分も含めて約35億円の予算を計上し、地域防災力の強化を図ります。

■一般会計

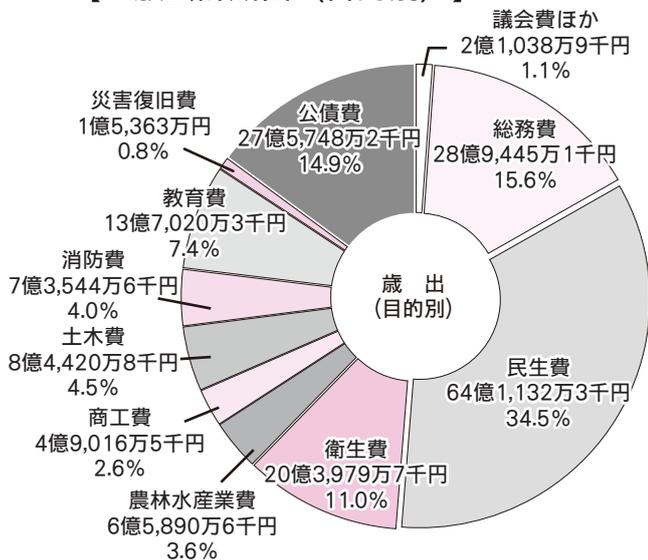
一般会計は、前年度比2.5%減となつていますが、平成24年度3月補正予算への前倒し分を加えた実質では13.9%の増となります。

普通建設事業も、地震津波対策、防災行政無線整備、学校施設の耐震化、道路整備など防災関連事業の前倒し分を加えると、実質的には16.5・1%の大幅な増となり、事業量の確保により地域経済の活性化を図ることとしています。

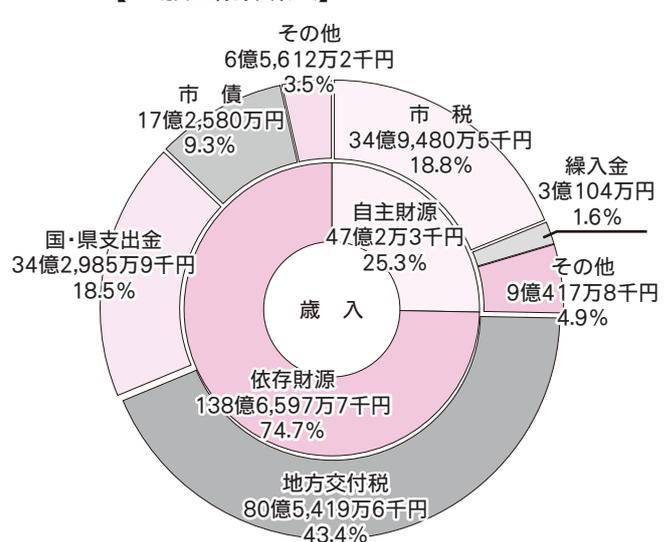
区分	平成25年度 予算額	伸率 (%)
一般会計	185億6,600万円	△ 2.5
特別会計(14会計)	104億9,370万円	△ 0.7
国民健康保険事業勘定	43億8,129万円	2.7
国民健康保険診療施設勘定	3億1,724万円	8.4
奥屋内へき地出張診療所	543万円	△ 20.1
後期高齢者医療	4億8,349万円	0.3
下水道事業	6億8,153万円	△ 25.7
と畜場	2億3,307万円	△ 23.0
幡多公設地方卸売市場事業	547万円	△ 71.8
住宅新築資金等貸付事業	104万円	△ 8.4
鉄道経営助成基金	4億 22万円	24.3
農業集落排水事業	4,877万円	1.4
幡多中央介護認定審査会	672万円	△ 1.4
介護保険事業勘定	35億9,551万円	8.5
園芸作物価格安定事業	2,810万円	0.0
簡易水道事業	3億 582万円	△ 45.1
企業会計(2会計)	27億9,374万円	△ 9.5
水道事業	6億4,909万円	△ 8.4
病院事業	21億4,465万円	△ 9.8
合計(各会計間の重複額除く)	298億6,505万円	△ 3.0

(参考)平成24年度3月補正予算 28億3611万円(前年同期比1.75倍)

【一般会計歳出(目的別)】



【一般会計歳入】



※新は今年度新規の事業
※補は平成24年度3月補正前倒し分

災害に強いまちづくりー地域防災

地震津波対策事業【9120万1千円】
防災拠点基地整備や津波避難計画の作成など、地震・津波から市民の命を守る対策。



南海地震(昭和21年)

地域防災計画改訂【10992万円】
南海トラフ巨大地震の想定を受け、地域防災計画の改訂。
消防団員報酬【2289万2千円】
報酬額の引上げを実施。

補 地震津波対策事業【4億7450万円】
津波避難路の整備、耐震性貯水槽、防災コミュニケーションセンターなどの整備。

補 防災行政無線整備【2億円】
地域住民へ迅速に災害情報等を伝達し、円滑な避難活動を行えるようにする対策。

補 住宅耐震診断・耐震改修・ブロック塀耐震対策助成事業【5198万円】
木造耐震診断を県下で初めて無償化。

補 学校施設耐震化事業
【9億4850万4千円】

下田、八束、蕨岡中学校の体育館改築。
下田、竹島小学校、下田、西土佐中学校のガラス飛散防止対策工事。

住みよいまちづくりー環境・基盤整備

ふるさと暮らし支援事業【2450万円】
地域の活性化と住みよい環境整備を図ることを目的に、地域が実施する集会所や生活道、農林道整備等に対して助成。

デマンド交通運行【4065万6千円】
西土佐地域と後川地区の一部、富山・蕨岡地区での実証運行を踏まえ、4月より本格運行に移行。

新 高齢者免許返納サポート制度【10万円】
交通事故の抑制のため、運転経歴証明書の交付手数料の助成を行い、高齢者の運転免許証返納制度の利用促進を図る。
総合支所・消防分署庁舎建設事業
【6億9726万7千円】
防災拠点として、また市民が気軽に訪れられるような庁舎を建設。

補 道路整備(防災・安全社会資本整備交付金事業) 【2億5646万9千円】
市民の安全・安心を確保するため、市道改良に加え、橋梁の長寿命化、路面・トンネル・附属物等の点検調査を行う。

活力あるまちづくりー雇用・産業振興

緊急雇用創出臨時特例基金事業
【31事業 1億6455万5千円】

短期間の雇用と就業機会を創出。新規の失業者のべ52人雇用予定。

新 緊急雇用創出臨時特例基金事業(起業支援型雇用創出)【7事業 9730万円】
10年以内に立ち上げた企業を支援。新規の失業者のべ21人雇用予定。

産業振興推進ふるさと雇用事業
【14事業 9458万7千円】

継続的な雇用創出を支援。新規の失業

者のべ29人雇用予定。
道の駅情報発信拠点施設整備
【1億5156万1千円】

西土佐地域の農林水産物や加工品、観光資源などの地域資源の販売、情報発信の拠点施設として道の駅を整備。
「遅咲きのヒマワリ」活用事業
【307万2千円】
ドラマ効果を観光や地域活性化につなげる。

新 幡多地域観光キャンペーン

【2000万円】
県と幡多6市町村が一体となり、魅力あふれる観光地を目指しキャンペーンを実施。

健康長寿のまちづくり

ー保健・医療・福祉

健康・福祉地域推進事業【3743万円】
地域づくり組織を再編し、子どもから高齢者、障害者など全ての市民が住み慣れた地域で生活を継続できる仕組みづくりを行う。

乳幼児・児童医療費助成事業
【8487万3千円】

医療費助成を、平成25年6月より小学校卒業まで拡大。
歯科口腔事業【497万2千円】
口腔ケア事業に加え、青年、壮年期の歯周病検診を実施し、歯と口の健康づくりを推進。

新 生き生き訪問健診・健康相談

【58万1千円】
市民病院医師と市保健師が地域に向く。

絆を結ぶまちづくりー対話と協調

地域おこし協力隊【1972万7千円】
隊員を3名増員し6名とする。

総合計画策定【315万円】
平成24年度の市民意識調査・基礎調査を踏まえ、本格的な策定業務に着手。

新 補 過疎集落等自立再生緊急対策事業
【5000万円】
大宮地域の集落活動を支える拠点施設の整備、仕組みづくりを支援。

誇りをもったまちづくり

ー歴史・文化・教育

新 文化施設建設基金積立金【1億円】
新たな文化施設の建設に向け、基金を積立てる。

新 図書館西土佐分館整備

【1086万2千円】
総合支所建設にあわせて図書館西土佐分館の整備を行う。

補 中村小学校改築事業

【3億8787万4千円】
体育館、プールの改築、屋外環境整備。

補 武道館整備事業

【5億2551万9千円】
安並プール撤去のあと、武道館を建設。



武道館建設予定地(安並プール跡)

水戸・山路地区

津波避難タワー完成

県内初のツインタワー化・ゴンドラ設備搭載

表紙の下田水戸津波避難ツインタワー(3月10日完成)と併せて、八東山路地区にも3月27日、津波避難タワーが完成しました。

このタワーは周辺住民やグループホームを対象に整備したもので、当地域の場合、要援護者を抱えるなどして避難する際相当な時間を要することから、タワーの附属設備として手巻式ゴンドラを設置し、エレベーター方式により一気に上昇させることで避難時間の短縮に努めるものです。また、タワーの屋上部分から裏山に避難できる付属階段を設置したことで、より上に避難できる構造となっています。

水戸、山路のタワーは、いずれも県下で初めての構造です。

両地区は、「地区の課題であった要援護者の避難手段ができました。今後はタワーを利用した避難訓練も行っていきます。」(山路区長)、「公助(行政の取り組み)の次は自助(自らを守る取り組み)の努力が必要です。自分たちの命を守るため訓練などに活用していきます。」(水戸区長)と、タワー完成を喜んでいます。今後は犠牲者を1人も出さないため、日頃からの訓練が大切です。



八東山路 ゴンドラ設備搭載津波避難タワー

木造住宅の耐震診断が無償になります

市では、住宅の耐震化に要する費用について補助金を交付します。対象となる住宅は昭和56年5月31日までに着工された住宅で、構造(平屋、2階建てなど)は問いません。この事業は、診断↓設計↓改修(工事)の順に実施します。これまで診断時に3千円の自己負担が必要であった木造住宅の耐震診断について、県下で初めて無償化し、非木造住宅の診断補助金についても、3千円引上げます。南海地震に備えて耐震化を図り、「住宅の倒壊から命を守る」ため、ぜひご応募ください。

募集件数	補助対象要件		1戸あたり補助額等	概要
木造50件 非木造10件	② 県に登録している耐震診断士が診断を行うこと。	① 昭和56年5月31日までに着工された住宅	木造：全額補助(3万3千円) 非木造：上限3万3千円補助	住宅の地震に対する耐久力を数値化して診断書を作成する費用について補助します。
木造35件 非木造5件	③ 耐震改修工事後「一応安全なレベル」となる耐震改修設計であること。	② 県に登録している設計事務所等に所属する耐震診断士が耐震改修設計を行うこと。	耐震設計に係る費用の2/3(上限20万円)を補助	耐震改修工事に取り掛かる前に必要となる耐震改修設計費(精密診断や設計書作成などの経費)の一部を補助します。
木造35件 非木造5件	③ 耐震改修工事後「一応安全なレベル」に改善されること。	② 県に登録している工務店が耐震改修工事を行い、住宅の所有者が選任した耐震診断士が耐震改修工事の現場確認等を実施するもの。	耐震工事に係る費用に対し、上限90万円を補助	市補助事業による耐震診断の結果、「倒壊の可能性がある」と診断された住宅を「一応安全なレベル」にする耐震改修工事に対して補助します。

※「一応安全なレベル」とは、耐震診断士による精密診断法や構造設計一級建築士等の診断により、安全性が確認されるものです。

募集開始 4月24日(水)

申し込みが右表の募集件数に達した場合は、募集を終了しますので、あらかじめご了承ください。

受付時間 8時30分～17時15分(土、日、祝日を除く)

【問い合わせ・申し込み先】(本庁)地震防災課 ☎(35)2044

西土佐総合支所等庁舎の建設進む！



工事の進捗状況

西土佐総合支所等の庁舎建設工事が順調に進捗し、2月中旬から敷地造成工事が始まっています。

現総合支所を残し、業務を続けながら、公民館や生活改善センター跡地を造成しているもので、本年7月頃を目処に工事を進め、造成工事が完了次第、庁舎棟の建設に着手する計画です。

工事期間中、ご来庁者の皆さまには、総合支所玄関横の駐車場をご利用いただきませんが、駐車台数に限りがありますので、満車の場合には恐れ入りますが、「お多福工房」前や「横山精肉食品センター」前などの市営駐車場をご利用ください。また、工事期間中は、周辺を始め、地域の皆さまに何かとご迷惑、ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

今後のスケジュール

今年度末には、新西土佐総合支所庁舎での業務

	25年度	26年度
敷地造成工事	H25.2月頃～7月頃	
庁舎棟建築工事		H25.7月頃～H26.1月頃
既存(総合支所)解体		H26.3月頃～H26.4月頃
消防棟建築工事		H26.5月頃～H26.11月頃

が開始できるよう、庁舎棟の建設を進めます。その後、引き続き、旧総合支所庁舎を解体し、消防棟の建設に着手します。新消防分署庁舎での業務開始は、平成26年末の予定です。

問い合わせ先 (総合支所) 地域企画課 支所庁舎建設係 ☎(52) 1111

西土佐 天体観測施設

新築移転完了

「星空の街西土佐」に新しい天体観測施設が完成しました。

この施設は、平成2年に建設された旧施設の老朽化に伴い、新たに建設されたもので、観測室の拡張やスリット(屋根の開閉部)の電動化など、旧施設での課題の改善がされています。



また、旧施設は山の中腹部に設置されていたが、駐車場やトイレ設備がないなど、利便性が悪く施設の有効活用の妨げとなっていました。そのため、新施設は誰でも気軽に観測ができるよう西土佐ふれあいホールの裏駐車場に設置しました。4月には新規購入済みの天体望遠鏡(アメリカ・セレストロン社製36cmレンズ)の設置を行い、4月末から天体観測の利用が可能となる予定です。ぜひこの機会に皆さんも大自然の中で美しい満天の星空を楽しんでみませんか？

■観測施設使用料

大人：500円 中学生以下：300円
小学生未満：無料
※要予約(観測にはガイドがつきます)

【問い合わせ・使用予約先】

(市)教育委員会 西土佐事務所
☎(52) 11110

四万十市長選挙のお知らせ

投票日は4月21日(日)です

◎投票のできる人

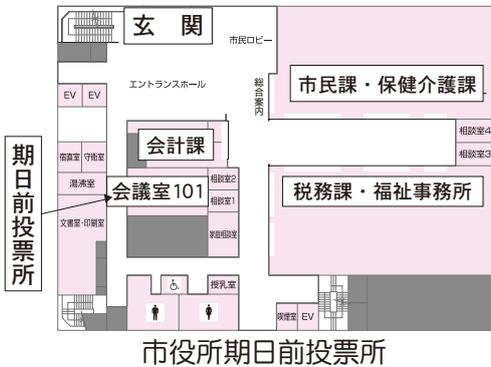
1. 今回の四万十市長選挙の選挙時登録の基準日は4月13日となっておりますので、平成25年1月13日までに四万十市に転入届をして、引き続き四万十市に居住している人。
2. 平成5年4月22日までが誕生日の人。

◎市内転居者の投票所

市内で住所を変わり、平成25年4月5日以降に転居届をされた人は、前の住所の投票所へ行ってください。

◎期日前(不在者)投票

1. 投票日に投票所へ行って投票できない人は4月15日から4月20日まで毎日午前8時30分から午後8時まで、四万十市庁舎1階会議室101及び四万十市西土佐総合支所1階(左図参照)で投票できます。この場合、宣誓書に申立てが真正であることを記載していただきます。

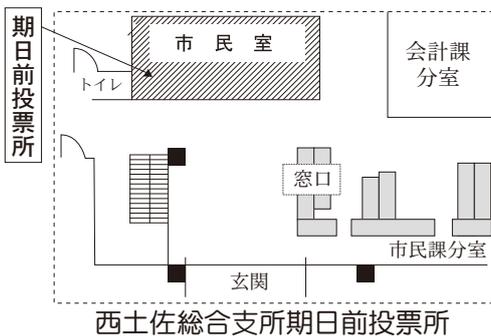


◎郵便による在宅投票制度

*期日前投票とは、投票当日の投票所のように投票用紙をそのまま投票箱に投函できる投票です。ご利用ください。

2. 不在者投票期間に市外に滞在して市外の市町村選管で投票しなければならぬ場合、市選管に対して早めに投票用紙等の請求はできますが、市選管が投票用紙等を発送する日は4月13日からです。

身体障害者手帳又は戦傷病者手帳の所持者、介護保険の被保険者証に要介護状態区分が要介護度5であると記載されている人で、市選管より郵便投票証明書を交付された人は郵便による在宅投票ができます。また、身体障害者手帳に上肢又は視覚の障害の程度が1級であると記載されている人、肝臓の障害の程度が1級から3級までであると記載されている人、戦傷病者手帳に上肢又は視覚の障害の程度が特別項症から第2項症までであると記載されている人、肝臓の障害の程度が特別



◎代理投票

項症から第3項症までであると記載されている人については、あらかじめ市選管に届け出た代理記載人によって代理投票により投票することができます。

郵便投票のできる人は、投票日の4日前(4月17日)までに、郵便投票証明書を同封し市選管に投票用紙等の交付申請をしてください。

◎入場券

投票所入場券を発行しますので期日前投票所、当日の投票所に持参してください。入場券を紛失または届いていない場合でも、名簿に登録されている人であれば、入場券がなくても投票できます。

◎投票所の変更

投票所が変更になりました。今回、第5投票区が中村商工会館から市立文化センターに第10投票区が市立竹島小学校体育館から竹島地区集会所に変更となりました。

◆不明な点は四万十市選挙管理委員会事務局
および西土佐総合支所地域企画課へおたずねください。

(本) 庁選挙管理委員会事務局

☎(34)1784

(総合支所) 地域企画課

☎(52)1111

運転免許証の返納をお考えの方へ ～四万十市高齢者免許返納サポート制度スタート～

運転経歴証明書を提示するとさまざまな特典が受けられます。

－四万十市高齢者免許返納サポート制度とは－

- 運転免許証を自主的に返納された65歳以上の高齢者（65歳未満でも病気等により自主的に返納した人を含む）の方に対する支援を行う制度です。（すでに返納されている方も対象です）
- サポートとは、協力店において、「運転経歴証明書」を提示する高齢者等に対し、商品の割引などの特典を提供していただくものです。

－運転経歴証明書とは－

運転免許証を自主的に返納された方の申請により交付されるもので、返納した日から過去5年間の運転の経歴等が表示されています。平成24年4月より公的な身分証明書として生涯利用できるようになりました。
※発行手数料として1,000円が必要ですが、平成25年4月1日以降に返納される方には市から補助があります。

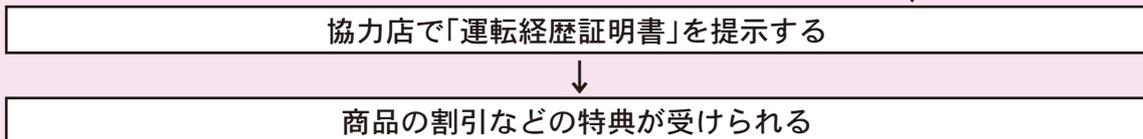
4月1日以降に返納される方

中村警察署または運転免許センターで
運転免許証を自主返納（運転経歴証明書の交付申請）

↓
交付された「運転経歴証明書」を持って
四万十市環境生活課で補助申請をしてください。
※印鑑・通帳（振込先口座のわかるもの）が必要
発行手数料1,000円を補助します。

すでに返納されている方

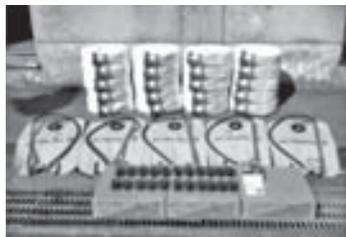
平成24年4月以降発行の運転経歴証明書
をお持ちの方は、そのまま使用できます。
なお、運転経歴証明書の交付申請をされて
いない方は、自主返納した日から5年以内
であれば申請ができます。※発行手数料
1,000円が必要です。（補助はありません）



【サポート制度についての問い合わせ先】(市)環境生活課 市民生活係 ☎(35)4147 FAX(34)7466



この事業は財団法人自治総合センターが、地域文化の振興、コミュニティ活動の支援などをはじめ、地域振興のための事業を通じて、宝くじの社会貢献広報のため、さまざまな事業を行っています。



四万十市消防団に整備した資機材



下田少年消防クラブに整備した資機材

財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業（地域防災組織育成事業イ・九）を活用し、地域防災のリーダーである消防団に装備の拡充を図り、将来の地域防災を担う少年消防クラブに消防防災実践活動として必要な資機材を購入しました。
今後、四万十市消防団・下田少年消防クラブでは、これらの資機材を活用して地域の安心・安全に繋がる活動に役立てていく予定です。

平成24年度 コミュニティ助成事業で 資機材購入

【問い合わせ先】(市)総務課 防災対策係 ☎(35)2044 / 四万十消防署 ☎(34)5881

行政相談委員を紹介します

本市の行政相談委員に本年4月1日付けで以下の3名の方が委嘱されました。行政相談委員は、総務大臣の委嘱を受け、住民の皆さんからの国、県および市の仕事に対する相談をお聴きし、その解決や実現のお手伝いをする民間有識者です。

氏名	住所	任期	委嘱区分
正木 卓夫	入田	平成25年4月1日から 平成27年3月31日まで	再委嘱
平石 眞理子	中村東町3丁目		新規委嘱
中平 貞行	西土佐江川崎		再委嘱

【問い合わせ先】(市)総務課 行政管理係 ☎(34)1804

ふるさと応援団員からの便り

市民病院まで

お願いいたします

曾我部紘一郎



市民病院前院長
勤務昭和59年〜
平成17年(20年)
徳島市在住
昭和14年生まれ

ドラマ「遅咲きのヒマワリ」楽しく見させていただきました。懐かしい場所が次々とでてきました。懐かしくなりました。屋上の錆びた手すりを見ているうちに、私の心は突然30年前にタイムスリップしました。

トンネル続きの国鉄を乗り継ぎやつとこのことで終着中村駅に着。新任地に期待を膨らませ、颯爽と降り立った青年医師？

駅前には並ぶタクシーに乗り込み、冒頭の言葉を伝えた。とたん不機嫌になった運転手。返事もせず、猛スピードで車を走らせた。あつという間に目的の市民病院に到着。こんなに近かったのか。長い客待ちのあげく、つかんだ客がこんな近距離客だったとは!! 申し訳ない、歩けばよかった。

着いた病院がこれまたひどかった。玄関には脱ぎ捨てられた靴やスリッパが散乱し、悪臭を放っていた。廊下には、あふれる荷物。野

戦病院さながらの光景だった。着任初日の印象は最悪だった。

大学から地方勤務を命ぜられる医師たちは1〜2年の約束でしぶしぶやってくる。彼らには帰る場所がある。しかし、勝手に医局を飛び出し、外国をほつつき歩いていた私には帰るところなどなかった。当時、院長をされていた氏原一先生に拾っていただき、そのまま居座ること20年。とうとう、定年までお世話



平成4年当時 医師15人
前列左2人目が本人(当時副院長)、
その右が氏原一院長

になってしまった。

病院生活は多忙をきわめた。24時間ひっきりなしに救急車がきた。170床のベットがフル回転した。しかし、誰も不平を言わず、一致団結して働いた。がむしゃらに働いているうちに、だんだん土地の生活にも慣れてきた。

京都を思わせる街並みや、まろやかな幡多弁、暖かい人情、温暖な気候、住めば都とはよくいったもの。

初日のシヨックはどこかに飛んで行って、だんだんこの街が好きになった。ストレスの発散には、全国力ナンバー1の憧れの四万十川にカヌーを浮かべ、至福のひと時をすごした。

公立病院は赤字だ、医師不足だ、これも危機に瀕している。市民病院にも何度か危機があった。たった2名の医師から徐々に復活し、一時は中医学科の医師2名、中国からの留学生、研修医などが集まり20数名のにぎやかな世帯になった。みんな和気あいあいとはたらき、病院全体のチームワークは抜群だった。

医療制度は時の政治に翻弄され、いままた危機の時代を迎えている。市民病院もまた医師数が減少していたが、皆さんの努力で徐々に回復しており、うれしい限りです。

現在の11人のサムライは、医局のシガラミなどなく、強い意志で飛び込んでくれた方々ばかりと聞いています。素晴らしい集団の力で、きつと乗り切っていただけと信じています。市民の支えも心強く思っています。

都会の大病院にはない、手作りの心暖まる医療ができる病院であり続ける限り市民病院は不滅です。ここに日本医療再生の道があるような気がします。

市の名前も、病院の名前も変わってしまいました。私の心の中には第二の故郷中村が生きて続いています。

最後に、執筆の機会を与えてくださった田中市長に感謝いたします。

小学生の医療費が6月から無料になります

市ではこれまで就学前のお子さんの医療費を助成してきましたが、平成25年6月から対象者を小学生までに拡大し、保険診療に係る医療費を全額助成します(児童医療費)。対象となる小学生の保護者は、左記まで申請してください。

■対象者 市内に住所を有する小学生

※ただし、生活保護受給者は児童医療費の対象となりません。

※ひとり親医療費助成対象者・障害医療費助成対象者は、児童医療費よりもひとり親医療費・障害医療費の受給者証を優先して使用していただきますので、児童医療費の申請は任意で構いません。

■助成の対象となる医療費等

小学生にかかる医療費等で、平成25年6月診療分から。(医療保険適用となる診療等のみ。食事療養費は除く)

■申請に必要なもの

①助成の対象となるお子さん(小学生)の健康保険証(写しも可)

②印鑑

③申請書
※住民票で小学生の父母等であることが確認できた人へは、4月初旬に文書で申請のご案内をする予定です。

【問い合わせ・申請先】

(本 庁)福祉事務所家庭福祉係

☎(34)1801

(総合支所)福祉事務所分室(保健課内)

☎(52)1132



がんばってます 市民病院 です

☎(34)2126

常勤医師11名



外科部長 石井泰則



外科部長 宇都宮俊介



内科副部長 小川貴司



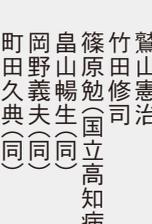
内科部長 高橋敏也



内科部長 矢野昭起



内科 院長 樋口佑次



非常勤医師(内科) 鷺山憲治



泌尿器科部長 中尾昌宏



脳神経外科副部長 川田祥子



脳神経外科部長 伴昌幸



整形外科副部長 坪屋英志



整形外科 副院長 河内通

竹田修司
篠原勉(国立高知病院)
畠山暢生(同)
岡野義夫(同)
町田久典(同)

		月	火	水	木	金					
内科	午前	初診	小川貴司	初診	矢野昭起	初診	樋口佑次 <small>(紹介患者のみ)</small>	初診	高橋敏也	初診	小川貴司
		再診	樋口佑次	再診	樋口佑次	初診	高橋敏也	再診	矢野昭起	再診	*竹田修司
		再診	矢野昭起	再診	*鷺山憲治	再診	矢野昭起	再診	樋口佑次	再診	高橋敏也
	午後	再診	樋口佑次	再診	小川貴司	再診	高橋敏也	再診	高橋敏也	再診	石井泰則 <small>(呼吸器外来)</small>
		再診	高橋敏也	再診	*鷺山憲治	再診	小川貴司	再診	小川貴司	再診	樋口佑次
		再診	高橋敏也	再診	*国立高知病院医師 <small>[注]</small>	再診	小川貴司	再診	小川貴司	再診	樋口佑次
外科	午前	宇都宮俊介	石井泰則	宇都宮俊介	石井泰則	宇都宮俊介					
整形外科	午前	河内通	坪屋英志	河内通	坪屋英志	河内通					
脳神経外科	午前	伴昌幸	川田祥子	伴昌幸	川田祥子	伴昌幸					
泌尿器科	午前	中尾昌宏	休診(手術・検査)	中尾昌宏	休診(手術・検査)	中尾昌宏					

注) 国立高知病院医師4人(篠原勉、畠山暢生、岡野義夫、町田久典)が、交替で診察します。(第2、第4火曜日)

医師診療担当
4月1日より

● 受付 8時~11時
● 診療時間 9時~
● *印は「非常勤医師」です

第2回 糖尿病にならないためのセミナー「運動のコツを学んでみよう!!」

糖尿病と上手く付き合うためには、日々の食事・運動が大切です。今回は樋口院長のお話と一緒に、運動のコツや低血糖などについて学べる内容です。糖尿病についてまずはきちんと学んでみませんか？

日時 5月11日(土)13時~ 場所 市民病院 健康管理センター
参加費 無料 ※事前申込不要。当日受付時間にお越しください。

【プログラム】

13時~ 受付 血圧・血糖測定
13時20分~

①樋口院長のおはなし②どんな運動がいいの？(理学療法士)③低血糖とは？(薬剤師)④ウォーキング

※運動ができる服装・靴でお越しください。

15時30分 終了予定



【問い合わせ先】市民病院 ☎(34)2126

四万十市スポーツ賞表彰式

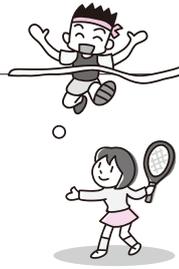
3月3日(日)に第8回四万十市スポーツ賞表彰式が市立中央公民館で開催されました。

四万十市スポーツ賞は、スポーツの普及振興に顕著な功績をあげた人を表彰するもので、今回は、優秀賞個人21名、優秀賞団体7団体、功労賞個人1名が受賞されました。

表彰式は、受賞者や推薦者、保護者ら約100名が出席して行われ、全日本バレーボール小学生大会で全国優勝を果たした中村ジュニアバレーボールクラブの森下裕々さんから、受賞者を代表して謝辞がありました。

【優秀賞：個人】

氏名	種目	学校・学年(所属)
山崎 咲和	陸上	中村南小 2年(宿毛JAC)
山沖 果廉	水泳	具同小 5年(中村スイミングクラブ)
山崎 祐弥	"	東山小 6年(中村スイミングクラブ)
谷山 夏美	ソフトテニス	具同小 6年(中村ジュニアソフトテニスクラブ)
井上 菜々	"	中村南小 6年(中村ジュニアソフトテニスクラブ)
浅利 玖朗人	陸上	中村西中 1年
森本 紗和	"	西土佐中 3年
中脇 達哉	"	中筋中 3年
深原 大誠	水泳	県立中村中 1年
西原 大杏	"	中村中 1年(中村スイミングクラブ)
松尾 彩	ソフトテニス	東中筋中 2年
山本 華鈴	"	" 2年
中平 慎吾	"	" 3年
山本 和弥	"	" 3年
岡本 千波	陸上	中村高 2年
池本 愛	"	" 3年
岡添 大樹	"	宿毛工高 3年
森 圭祐	水泳	中村高 2年
竹中 涼	柔道	" 1年
和田 美里	"	" 2年
堀川 風薫	"	" 2年



【優秀賞：団体】

団体名	代表者・主将	人数	種目
中村スポーツ少年団	松岡 隆希	33人	野球
中村ジュニアバレーボールクラブ	森下 裕々	28人	バレーボール
県立中村中学校陸上競技部女子リレー	西原 琳	6人	陸上
東中筋中学校男子ソフトテニス部	中平 慎吾	12人	ソフトテニス
東中筋中学校女子ソフトテニス部	永沢 しおり	8人	ソフトテニス
中村高等学校男子ソフトテニス部	池本 貴輝	16人	ソフトテニス
中村高等学校女子柔道部	濱田 今日子	5人	柔道



【功労賞：個人】

氏名	所属等	種目
宮畑 洋子	シ・マムタの会	登山

ありがとう 田野川小学校

3月20日(水)、田野川小学校の卒業式・修了式ならびに休校記念式典が同校体育館で行われました。

保護者や地域住民らで構成する実行委員会の主催。

同校は1876(明治9)年に田野川簡易小学校として開設され、昭和63年に現在の校舎が落成。

平成24年度の児童は9人で、2人卒業後、残る7人は4月から中村小学校へ通うこととなりました。

休校式典には学校関係者、来賓をはじめ、地区の住民や卒業生らあわせて160人余りが出席。

実行委員会や来賓からのあいさつのおと、児童全員で、この一年の運動会での取り組みや米作りなど、地域に支えられながら取り組んできたさまざまな教育・交流活動の思い出を、元気いっっぱいに発表しました。

そして最後に児童全員で「ありがとう。田野川小学校」と声を合わせました。その後、校舎玄関前で「想い出の碑」と記された記念碑の除幕式が行われました。

式典後の「惜別の会」では、実行委員会の方々や歴代の校長、卒業生らが、これまでの歴史をしのびながら、旧交を温め、最後は全員で校歌を斉唱しました。





1年に1度は健診を
～健康は自分で～

保健カレンダー

4



市
政

教
育

く
らし

情
報
掲
示
板

健診
教室・学習会
相談
献血
動物関係

	月日	事業名	該当地区	時間	場所
4月	22日(月)	胸部レントゲン(肺がん検診)	具同地区	個別通知	具同地区
	24日(水)	ママ&チルドレン		10:00～11:30	具同体育センター
	26日(金)	胸部レントゲン(肺がん検診) 1歳9カ月児健診	中筋地区	個別通知 12:50～13:30	中筋地区 健康管理センター
	30日(火)	乳幼児(赤ちゃん)相談 ママタッチ教室 離乳食相談		9:30～11:00、13:00～14:30 9:30～11:00 13:00～14:30	健康管理センター 健康管理センター 健康管理センター
5月	1日(水)	胸部レントゲン(肺がん検診)	八束地区	個別通知	八束地区
	2日(木)	特定健診(生活習慣病健診) 注	中筋地区	9:30～10:30、13:30～14:30	中筋小学校
	3日(金)	献血		12:30～17:00	フジگران四万十
	4日(土)	献血		9:00～11:30、12:30～17:00	フジگران四万十
	5日(日)	献血		9:30～13:00	フジگران四万十
	8日(水)	ママ&チルドレン 乳児健診 出張健康相談		10:00～11:30 12:50～13:30 9:00～11:00	具同体育センター 健康管理センター J A高知はた 西土佐支所
	9日(木)	胸部レントゲン(肺がん検診)	東山地区	個別通知	東山地区
	10日(金)	胸部レントゲン(肺がん検診) 3歳児健診	東中筋地区	個別通知 12:50～13:30	東中筋地区 健康管理センター
	12日(日)	献血		9:30～12:30、13:30～15:00	四万十自動車学校
	14日(火)	特定健診(生活習慣病健診) 注 胸部レントゲン(肺がん検診)	東中筋地区 西土佐地域	9:30～10:30、13:30～14:30 個別通知	J A高知はた中村西部事業所 西土佐地域
	15日(水)	胸部レントゲン(肺がん検診)	西土佐地域	個別通知	西土佐地域
	16日(木)	胃がん検診 胸部レントゲン(肺がん検診)	具同地区 西土佐地域	8:00～9:30 個別通知	具同体育センター 西土佐地域
	17日(金)	胃がん検診 胸部レントゲン(肺がん検診)	具同地区 西土佐地域	8:00～9:30 個別通知	具同体育センター 西土佐地域

注) 特定健診(生活習慣病健診)は、40歳以上の国民健康保険に加入している人で、受診券を送付している人 および、40歳以上の協会けんぽ等に加入している被扶養者の人で、市に予約済みの人が対象です。

また、今年度も肝炎ウイルス検査を行います。過去に検査していない人が対象ですので希望する人は、問診時に申込んで下さい。

※4月20日(土)までの計画については、広報四万十3月号に掲載しています。

【問い合わせ先】(本庁)保健介護課 ☎(34)1115 (総合支所)保健課 ☎(52)1132



在宅口腔ケア事業

市民が安心して健やかな在宅生活を送ることができるよう、今年度も口腔ケアの助成事業(左記利用料金で受けられます)を実施します。

いつまでも口から食えることが続けられるように、また、むし歯や歯周病、誤嚥性肺炎の予防のため、口腔ケアを受けてみませんか？

口腔ケアとは、歯科医師の指示のもと歯科衛生士が在宅高齢者宅を訪問し、歯および口腔内をきれいにするとともに口腔ケアの知識・技術を家族や介護保険スタッフなどに伝達していきます。また、入れ歯の手入れの仕方や保管管理、清掃方法などについても指導していきます。

■対象者

- ・介護保険法に基づき要介護1～5と認定を受けた人。
- ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの人で市長が適当と認めた人。

※右記対象者でも介護保険制度において施設サービスや病院などに入院している人は対象外です

■利用料金

- ・歯科医師訪問：2000円/1回
- ・歯科衛生士訪問：1000円/1回

■実施期間

歯科医師の1回目の診断により期間を定め、最長6カ月とします。

(歯科医師2回、歯科衛生士24回が上限)

【相談窓口】(本庁)保健介護課 ☎(34)1165



脳ドック検診費用助成

市では、くも膜下出血や脳梗塞といった脳卒中の疾病予防と早期発見、早期治療を促進し、健康管理意識の向上と健康増進を図るため、今年度も脳ドック検診費用助成事業を行います。

■助成費用

検診費用2万5千円のうち2万円を助成

(自己負担金:5千円)

■抽選で対象者を決定します

平成24年度申請開始当日に申し込みが殺到したことを考慮し、今年度は申込期間終了まで受付を行い、申込者多数の場合は、抽選にて助成対象者を決定させていただきます。

抽選結果については、後日個別通知を行います。

■申込期間

4月8日(月)～19日(金)

■受付時間

8時30分～12時、13時～17時15分

■申込方法

窓口・郵送(当日消印有効)および電話にて受付

※申請書は左記に置いていきます。

※申請に必要な物:印かん

※今回の申し込みは仮受付となるため、電話での申し込みの場合は、正式に決定した後、窓口にて改めて「申請手続」が必要となります。

■対象者

市内に住民票があり、平成26年3月31日現在で40歳以上の人(年間240人を予定)
今年度は、市の脳ドック検診の費用助成を受けたことのない人を優先するため、平成23年度及び平成24年度に費用助成を受けていない方

を対象とします。

また、脳疾患で通院中の人はお断りさせていただきます。(症状をくわしく把握しているかかりつけ医療機関なら、ご本人のためにより有意義な診療となるため、当該医療機関での受診をお勧めします。)

■検査内容

問診、MRI(脳断層写真)、MRA(脳動脈瘤などの血管の異常検査)、頸動脈エコー(超音波検査)

※50歳以上の人には、早期アルツハイマー型認知症の簡易判定も上記費用内で実施

■検査場所

市民病院

■実施時期 5月中旬頃
平成25年3月下旬

■検査の流れ

検診前:市民病院より受診日の連絡と問診票が送付されます。

検診当日:問診票記入のうえ受付↓MRI・MRA・頸動脈エコー検査↓脳外外来の神経学的診察(結果は検査内容をお知らせします)

検査後:約2～3週間後を目途に市民病院より結果報告書が送付されます。

【問い合わせ・申込先】
(本 庁)保健介護課 ☎(34)1115
(総合支所)保健課 ☎(52)1132



4月から難病等の人 が障害福祉サービス等の 対象となります

平成25年4月に施行される障害者総合支援法では、障害者の範囲に難病等の人加わります。

対象となる人は、身体障害者手帳の所持の有無に関わらず、必要と認められた障害福祉サービス等(※)の受給が可能となります。

※障害児・者については、障害福祉サービス、相談支援、補装具、および地域生活支援事業、障害児については、障害児通所支援および障害児入所支援。

■対象者

対象疾患(政令で示された130疾病 例:パーキンソン病、全身性エリテマトーデス等)による障害がある人。

■手続き

対象疾患に罹患していることがわかる証明書(診断書または特定疾患医療受給者証等)を持参のうえ、左記窓口で申請してください。
その後、障害程度区分の認定や支給認定等の手続きを経て、必要と認められたサービスを利用できることとなります。

【問い合わせ・申請先】

(本 庁)福祉事務所 社会福祉係 ☎(34)1120
(総合支所)西土佐福祉分室(保健課内) ☎(52)1132



4月から各種がん検診や特定健診が始まります

■各種がん検診(肺がん、胃がん、大腸がん、前立腺がん、子宮頸がん)
集団検診により実施します。

・がん検診ごとに対象者の性別や年齢等が異なります。

・事前に申し込みのあった人に対して、地区ごとに集団検診の実施時期にあわせて、おむね2週間前に検診料金を表示した受診票を個人通知します。

※今後も検診日程により受診可能ながん検診については、随時申し込みを受付します。(やむを得ない事情などがある場合は、電話での申し込みもできます。)

■がん検診推進事業(子宮頸がん・乳がん・大腸がん検診)

・がん検診受診率50%を目標に子宮頸がん・乳がん・大腸がん検診において、実施していきます。

・対象は平成25年4月1日現在で下記の年齢の該当者
子宮頸がん：20歳、25歳、30歳、35歳、40歳の女性
乳がん：40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の女性
大腸がん：40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の男女

・対象者には後日無料クーポン券を送付します。(子宮頸がん6月頃、乳がん6月頃、大腸がん10月頃)

※無料クーポン券が届く前に子宮頸がん・乳がん検診を受診予定の人は下記まで連絡してください。

・子宮頸がん・乳がん検診は集団検診のほか、一部の医療機関等での受診も可能です。

■特定健診(生活習慣病健診)

・4月1日以降継続して国保に加入している40歳から74歳までの人を対象に、集団健診および個別健診(医療機関での受診により特定健診を実施します)。

・対象者には、地区ごとに集団健診の実施時期にあわせて、おむね2週間前に受診券を個人通知します。(申込不要)

・集団健診の日程以前に個別健診や人間ドックの受診を希望される人は、問い合わせ先まで連絡してください。(個別健診では、予約により医療機関の診療日・診療時間内に受診できます。また、一部の人間ドック実施機関では、特定健診受診券を使用することにより人間ドックをお安く受診できることができます)

・平成25年度も集団健診、個別健診ともに(国保に加入している)全ての対象者の健診料が無料になります。

・特定健診の受診結果により、生活習慣の改善が必要な人については、保健師・管理栄養士などが無料で生活習慣の改善を支援します。(特定保健指導)

◇検診(健診)などの日程については、市広報の保健カレンダーや、広報4月号と同時配布する保健衛生事業計画表をご覧ください。

【相談窓口】

(本庁)保健介護課 ☎(34)11115
(総合支所)保健課 ☎(52)11132

平成25年度分の国民健康保険税が 年金から「仮徴収」されます

「仮徴収」とは、世帯主が受給する4月、6月、8月の年金から、あらかじめ天引きすることにより国民健康保険税を納付していただく制度です。

■仮徴収の対象となる世帯

国民健康保険に加入している世帯のうち、加入者全員が4月1日時点で65歳以上75歳未満であり、次の4項目の全てに該当する場合。

- (1) 世帯主が国保に加入していない世帯は除きます。
- (2) 世帯主が年額18万円以上の年金を受給している場合
- (3) 世帯主が介護保険料の特別徴収の対象者である場合
- (4) 国保税と介護保険料の合計額が年金額の2分の1を超えない場合
- (5) 口座振替への納付方法変更申し出をしていない場合

◆新たに平成25年度より仮徴収となる人へ

前年度国保税額の6分の1を、1回あたりの額として仮徴収します。

また、新規の対象者には、3月下旬に仮徴収額決定通知書を送付しています。

◆すでに年金から天引きされている人へ

原則として、平成25年2月に年金から天引きした税額と同額を、1回あたりの額として仮徴収します。

なお、四十市国民健康保険税は毎年7月に決定するので、新年度の決定税額から仮徴収分を差し引いた残りの税額を、10月・12月・翌年2月の3回に分けて年金から天引き(本徴収)します。

※「年金天引き」と「口座振替」を選択できます

年金からの天引きを中止して口座振替での納付を希望される方は、別途申請が必要です。

【問い合わせ先】

(本庁) 税務課 市民税係 ☎(34)11112 (直通)
(総合支所) 税務係 ☎(52)11111 (代表)

4月	6月	8月	10月	12月	翌年2月
仮徴収	仮徴収	仮徴収	本徴収	本徴収	本徴収



予防接種の制度が変わりました

以下のワクチンについて、4月1日より予防接種の制度が変更になりました。

◆子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン
定期接種化になりました

左記3ワクチンは、平成25年3月31日まで任意接種として行っていました。4月1日より予防接種法に定められた定期接種に導入となります。

●子宮頸がんワクチン（3回接種）

対象 小学6年生～高校1年生相当の女子
（標準的な接種年齢・中学1年生）

・定期接種導入に伴い、任意接種とは対象者が変更になります。
・中学1年生時に個別通知を行います。

●ヒブワクチン

小児用肺炎球菌ワクチン

（4回接種・接種回数は、接種開始時期により異なります）

対象

生後2月～6月に至るまでの間にある人
・生後2月に達する時に、順次個別通知を行います。

平成24年度までにお渡しした予診票は4月1日以降使用できません。

◆BCGワクチン

（対象者には個別通知を行います）
定期接種の対象者

生後6月に至るまでの間にある人

←変更後

生後1歳に至るまでの間にある人

標準的な接種年齢

生後3月から

←変更後

生後5月に達した時から生後8月に達するまでの期間

◆日本脳炎ワクチン

平成17年度から平成21年度にかけての積極的勧奨の差し控えにより、接種の機会を逃した人への接種機会の確保のための特例対象者に、平成7年4月2日～5月31日生まれの人が追加になりました。

これにより、平成7年4月2日～平成19年4月1日までの間に生まれた人は、20歳の誕生日の前々日まで定期接種の対象となります。

予診票等、不明な点は左記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

（本 庁）保健介護課

（総合支所）保健課

☎（34）1115

☎（52）1132

ねりんピック 予選大会

10月26日（土）～29日（火）、県内各地で第26回ねりんピックが開催され、本市では、27日（日）、28日（月）にグラウンド・ゴルフ交流大会を実施します。
この大会の出場者を決める予選が開催されますので、奮ってご参加ください。

■高知県グラウンド・ゴルフ協会春季西部大会

日時 4月17日（水） 8時30分受付 9時開始

場所 安並運動公園 四万十スタジアム

参加資格

県内在住で、昭和29年4月1日以前に生まれた人

参加料 300円

申込期限 4月10日（水）

申込方法 郵送またはFAX

【申し込み先】

〒789-1931 幡多郡黒潮町入野2122

中山次男 宛

☎・FAX 0880(43)4267

※申込用紙は、協会の専用申込書か、保健介護課、社会福祉協議会、安並体育館で配布しているものをお使いください。

■こうちシニアスポーツ交流大会2013

日時 5月16日（木） 9時～

場所 春野総合運動公園

参加資格

県内在住で、昭和29年4月1日以前に生まれた人

参加料 500円

申込期限 4月19日（金）

申込方法 郵送またはFAX

【申し込み先】

〒781-0251 高知市瀬戸西町2-137

高知県グラウンド・ゴルフ協会事務局 大山康子 宛

☎・FAX 088(841)3720

※申込用紙は、保健介護課、社会福祉協議会、安並体育館で配布しているものをお使いください。

【問い合わせ先】（市）保健介護課ねりんピック推進係

☎（34）1165

こんにちは

四万十市地域子育て支援センター“ぽっぽ”

です!

子育ては、なにかとストレスがたまりがちなもの。家に閉じこもりがちになったり、育児に自信がもてなくなったりしていませんか。四万十市地域子育て支援センター“ぽっぽ”は、子育て真最中のお母さんやお父さん、ご家族の子育てを支援するための施設です。親同士、子ども同士が親しみ、触れ合う小さな出逢いの場としてご利用ください。



子育て支援センターはこんな活動を行っています



親子ふれあい活動

◇ 1・2・3歳児対象

(平成21年・22年・23年4月から翌年3月までに生まれたお子さん)

簡単なおもちゃを作ったり、リズム遊びや園庭遊びなどをして親子で楽しめます。

毎週1回程度 9:30～11:30

◇ ぴよちゃんクラブ

対象:妊婦さんと0歳児(平成24年4月以降に生まれたお子さん)

簡単なおもちゃを作ったり、親子のふれあい遊びを楽しみます。

毎月1回程度 9:30～11:30

フリーデー

活動を行っていない日の午前中(9:30～12:00)と、毎日午後(13:30～16:30)も開所しています。子どもさんの、生活リズムを考えながらご利用ください。

おしゃべり広場

澤田 敬先生(元高知県立西南病院小児科医師)を招いて子育てや育児についての講話を行います。堅苦しくないざっくばらんな会です。子育て中の悩みにも答えていただけます。

毎月1回 9:30～11:30

子育て相談(電話相談・来所相談)

子育てについて日頃思っていること、悩んでいることなど気軽にご相談ください。

毎週月曜日～金曜日 9:30～11:30、13:30～16:30

※活動がある日の午前中は、相談に応じられない場合もあります。ご了承ください。

利用できる人

子育て支援センターの活動・利用は、市内在住で保育所や幼稚園に通っていない就学前の乳幼児とその保護者、家族を対象としています。なお、平成21年3月以前に生まれたお子さんについてはフリーデーのご利用をお願いします。



親子ふれあい活動 0・1・2・3歳児対象

はじめましてよろしくね!

1年間仲良く過ごすお友だちと顔合わせ。みんなで手遊びをしたり、歌をうたって楽しく過ごしましょう♪

時 4月16日(火) 9:30～11:30

場 子育て支援センター

ぽっぽで遊ぼう ①②③ ※日程ごとに①②③グループに分かれます。

グループのお友だちと“ぽっぽ”のお庭やおもちゃで遊ぼうね! 手作りの名札を作ったり、自己紹介もするよ。

時 ①4月22日(月)、②23日(火)、③25日(木)

9:30～11:30

場 子育て支援センター

なかよく遊ぼう ①②③

手作りおもちゃやままごとコーナーで仲良く遊ぼうね。お外にはブランコやすべりだいもあるよ!

時 ①5月13日(月)、②14日(火)、③15日(水)

9:30～11:30

場 子育て支援センター



その他の活動

ぴよちゃんクラブ (はじめましてよろしくね!)

1年間仲良く過ごすお友だちと顔合わせ。みんなで手遊びをしたり、歌をうたって楽しく過ごしましょう♪

時 4月18日(木) 9:30～11:30

場 子育て支援センター

ぴよちゃんクラブ①②<ぽっぽで遊ぼう>

手作りの名札を作ったり、自己紹介もするよ。ぽっぽのおもちゃで遊んだり、お母さん同士おしゃべりも楽しんでね!

時 ①5月16日(木)、②17日(金)、9:30～11:30

場 子育て支援センター

※お願い…参加を希望される人は、準備等の都合がありますので、あらかじめご連絡ください。(活動の内容によっては、ご遠慮をお願いする場合があります。)なお、それぞれの活動については、1グループ20組程度に分かれての活動となりますのでご了承ください。駐車場は、少しスペースが狭く10数台しか置けませんので、奥の方からつめて置いて下さい。お近くの方は、徒歩か自転車でのご利用をお願いします。



問い合わせ先



四万十市地域子育て支援センター“ぽっぽ”

右山元町1丁目2-10 ☎(35)3748



**障害者
グラウンド
ゴルフ大会**
3月6日(水)、第8回四万十市障害者グラウンドゴルフ大会が安並運動公園で行われ、27名の選手が7つのグループに分かれ、日頃の練習の成果を発揮し、白熱したプレーを繰り広げました。
この大会は健康づくりと親睦を目的としており、団体や個人で成績優秀者やホールインワン賞(6名)の表彰もあり、楽しい交流の場になりました。

介護予防講座

シニアすこやか 温水トレーニング

この講座は、温水プールを利用して、膝や腰への負担が少ない水中運動で、筋肉を鍛え柔軟性を向上させるトレーニングをすることにより、介護状態になることを予防することが目的です。

期 間 【前期】5月～9月

【後期】10月～2月

時 間 12時15分～13時15分(受付11時30分～)

場 所 市立温水プール

コース/定員

・毎週月曜コース：全15回/30人

・毎週金曜コース：全15回/30人

運動内容

水中ストレッチ、アクアビクスなどを行います。体力に自信がない人でも、無理なく楽しめる運動メニューですので、お気軽にご参加ください。

対象者 65歳以上の四万十市民で、介護保険の要

介護認定を受けていない人

※持病のある人は事前にかかりつけ医師にプールで運動をしてよいか確認してください。

講 師 (公財)四万十市体育協会委嘱の講師

参加料 無料(プール入場料も無料)

受付期間(前期) 4月11日(木)～25日(木)

※申込者が定員を上回る場合は、この講座を受講したことの無い人を優先します。

※各コースの実施前後に体力測定、及び講習日

毎に健康チェックを行います。

※必ず、スイミングキャップを着用願います。

※必ず、スイミングキャップを着用願います。

【問い合わせ・申込先】

(公財)四万十市体育協会事務局

(市民スポーツセンター内) ☎(34)2071

心豊かに食す

食育編

豆乳グラタン

卵・鶏肉・乳製品使用していません



所要時間約30分

材料(4～5人分)

- ・厚揚げ豆腐 …………… 2個(400g)
- ・長ねぎ(または菜花) …… 2本(200g)
- ・にんじん …………… 1本(200g)
- ・豚薄切り肉 …………… 200g
- ・椎茸 …………… 3枚(45g)
- ◆豆乳ソース
- サラダ油 …………… 大さじ1
- ごま油 …………… 大さじ1
- たまねぎ …………… 60g
- 小麦粉 …………… 30g
- 無調整豆乳 …………… 400ml
- 塩・こしょう …………… 適宜

栄養成分【1人分】

エネルギー:310kcal 脂 質:17.5g
たんぱく質:21.0g カルシウム:234mg

作り方

日ごとに春らしさが増してきます。枯れた野原に春の野草が芽吹き、虫たちが活動し始める季節。春の野菜にも生命力があふれています。春野菜には身体の老廃物を排出する作用や解毒作用、また抗酸化作用が高いものが多くありますが、苦味や独特の香りがあるのも特徴。子どもたちがしっかりと春の命をいただくためには一工夫も必要です。今回は、くせのある野菜にもよく合う豆乳ソースをご紹介します。レシピでは長ねぎを使ったグラタンにしていますが、シーフードやマカロニ、じゃがいもとも相性よく、パスタにも使えます。

- ①まず豆乳ソースを作ります(①～③)。サラダ油を熱し、みじん切りしたたまねぎを弱火でよく炒めます。
- ②小麦粉を振り入れてさらに2～3分炒め、火を止めてから豆乳を加えて混ぜます。
- ③混ぜたら中火にかけて塩・こしょうで味をととのえ、さらに混ぜながら弱火で3分ほど火にかけます。
- ④豆乳ソースが出来たら、オーブンを200度に熱する間にグラタンの具を用意します。
- ⑤にんじんはたんざく切り、長ねぎは外側を1枚はがしてからななめ切りにします。しいたけは石づきをとってスライスします。
- ⑥厚揚げはさっと熱湯をくぐらせてからひと口大に切り、豚肉も食べやすい大きさにスライスします。
- ⑦フライパンに油少々を熱し、豚肉、にんじん、長ねぎ、しいたけ、厚揚げを入れて炒め、豆乳ソースを半分ほどからめます。
- ⑧耐熱皿に移してさらに残りの豆乳ソースをかけ、3分ほど表面を焼いて香りが出たらできあがり。

(四万十市福祉事務所 保育所係 橋田典子)



【問い合わせ先】

(市)環境生活課

☎(35)4147

古津賀2丁目に 地区集会所が完成

このほど古津賀2丁目地区集会所が完成し、3月10日(日)に落成式が行なわれ、地区内外から多くの人々が集まり、祝いました。建築にあたっては、平成24年度四万十市ふるさと暮らし支援事業での助成が利用されています。今後は、地域の皆さんのコミュニケーション拠点など、さまざまな活用が期待されます。

住宅用太陽光発電システム設置費補助

地球温暖化防止の取り組みとして、再生可能エネルギーの導入を推進します。

■補助対象者
・自らが居住する市内の住宅にシステムを設置する人
・自らが居住するために市内のシステム付き新築住宅を購入する人

※ただし、自らが電力会社と電灯契約を結ぶことができる人で、市税の滞納がない人など条件があります。

■補助金額
・四万十市産材利用促進事業補助金確定者
出力1Kwあたり4万円(上限16万円)
・右記以外
出力1Kwあたり3万円(上限12万円)
※予算額は580万円

四万十市産材利用促進事業補助金確定通知を受けている方に、補助金額の優遇措置を設けています。



■申請方法

申請書と申請に必要な書類を添付して(市)環境生活課まで提出してください。先着順にて受付します。申請書は市ホームページからダウンロードするか、(市)環境生活課まで取りに来てください。

■受付開始

4月15日(月)8時30分から受付を始めます。申請は、工事を開始する前、または機器を購入する前に行ってください。事後申請では補助金が交付できませんのでご注意ください。

【問い合わせ先】

(市)環境生活課 ☎(34)6126

生ごみ処理機・紙用シュレッダー等購入費補助

ごみ減量・リサイクルを推進します。

■補助対象者
四万十市民もしくは四万十市の事業者

■対象機器および補助金額
・電気式生ごみ処理機
3万円以上の機器に対して
1/2補助(上限3万円)

・生ごみ堆肥化容器
5千円以上の容器に対して
1/2補助(上限5千円)



・紙用シュレッダー
1万円以上の機器に対して
一律5千円



※購入先は四万十市内の店舗に限りです。

移住支援住宅に 修繕費用を補助します

市では移住支援に使用する住宅の修繕・改修について補助金を交付します。

補助事業完了後5年間、その住宅を移住支援以外に使用することはできません。

補助対象者 次の①、②のどちらか
①住宅の所有者
②四万十市外から移住を希望する人、もしくは移住をして1年を経過しない人

補助対象住宅
市内に所在する住宅で、現在誰も居住していない、もしくは申請者の②が居住をしている住宅。

補助対象経費 住宅の修繕・改修にかかる費用
委託料、工事請負費、備品購入費、需用費、役務費等(廃棄物運搬費および処分費を除く)

補助率 1/1(補助金上限額50万円)
募集期間 5月31日まで
※予算額250万円になり次第締め切ります。

※補助条件等について、お気軽にお問い合わせください。

また、市では移住希望者に賃貸する住宅を探しています。空き家をお持ちの人はぜひご連絡ください。

【問い合わせ・申込先】
(市)企画広報課 ☎(34)1129
FAX(35)0007

幡多広域消費生活センターになりました

四万十市消費生活センターは平成25年4月1日から業務を幡多広域市町村圏事務組合に移管し、幡多地域6市町村の消費生活センターとなりました。

名称が「幡多広域消費生活センター」となりますが、場所(市立働く婦人の家)と電話番号は変更ありませんので、これまで同様に消費者問題などがありましたらすぐにご相談ください。

【問い合わせ先】幡多広域消費生活センター ☎(34)6301 (市)環境生活課 ☎(35)4147

ねんきんだより

■ご存知ですか？

「学生納付特例制度」と
「若年者納付猶予制度」

「学生納付特例制度」とは

20歳以上の人は、学生であっても国民年金に加入しなければなりません。

しかし、学生は一般的に所得が少ないため、本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

「所得のめやす」

118万円 + 〔扶養親族等の数×38万円〕

《学生納付特例制度対象者》

学校教育法に規程する大学(大学院)、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校および各種学校(修業年限1年以上である課程)、一部の海外大学の日本分校に在学する人、夜間・定時制課程や通信制課程の方です。

《承認期間》

学生納付特例の承認期間は4月から翌年3月までとなりますが、承認を受けた次の年度も在学予定である場合、4月はじめに再申請の用紙が送られてきますので、引き続き学生納付特例制度をご希望の場合は、必要事項を記入の上ご返送ください。

「若年者納付猶予制度」とは

学生でない30歳未満の方で、本人および配偶者の所

得が一定額以下の場合に、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

《承認を受けた期間は…》

学生納付特例および若年者納付猶予制度を受けた期間は、将来受ける年金の受給資格期間に算入されますが、年金額には反映されません。就職などで収入が得られるようになった場合は、将来受け取る年金を増額するため、10年以内であれば、保険料を納めることができ「追納制度」を利用されることをお勧めします。

*ただし、免除等の承認を受けた期間の翌年度から起算して、3年度目以降に追納する場合には、当時の保険料に一定の加算額が上乘せされます。

これらの制度の申請を行わず、保険料を未納のままにしておく、不慮の事故などにより障害が残った場合に、障害年金を受けることができなくなります。

幡多年金事務所及び本庁市民課・総合支所西土佐市民国保分室で、早めに申請してください。

申請に必要なもの

年金手帳、学生証の写しまたは在学証明書、印鑑(本人署名の場合は不要など)

詳しくは、日本年金機構幡多年金事務所までお問い合わせください。



問い合わせ先

幡多年金事務所(中村東町2丁目4-10)

(本 庁)市民課 市民係 ☎(34)1616

(総合支所)市民課 西土佐市民国保分室 ☎(34)1113

(本 庁)市民課 市民係 ☎(52)1111

後期高齢者医療保険料

についてのお知らせ

■保険料の納め忘れはありませんか？

後期高齢者医療制度では、被保険者それぞれの人に保険料が賦課されています。保険料に未納のある人には督促状や催告書が送付されます。

納め忘れのある人は、至急納付をお願いします。

■平成25年度後期高齢者医療保険料の仮徴収が始まります

◎新たに「年金からの天引きが始まる人

左記の3つの要件をすべて満たしている人

・平成24年6月23日から10月2日までに資格を取得した

・年金が年額18万円以上で、介護保険料と合わせた保険料額が年金額の2分の1以下

・口座振替への納付方法変更申し出をしていない

※4月支給分の年金から天引きが始まる人には、4月1日に通知書を発送しています。

◎現在「年金からの天引き」となっている人

原則として平成25年2月の年金から天引き

した金額と同じ金額を、平成25年度の保険料の仮徴収分として、4月、6月、8月に特別徴収(年金天引き)で納めるようになります。

【問い合わせ先】

(本 庁)市民課 国保係

☎(34)1114

(総合支所)市民課 西土佐市民国保分室

☎(52)1111



公共下水道平成25年度 供用開始区域

皆さまのご協力をいただき下水道区域拡張工事が、角崎(一部)の区域で完成しました。
本年4月1日から下水道を利用できます。
区域の詳細については、都市整備課で縦覧できます。

合併浄化槽 設置補助事業

市では、生活環境の改善を図るため、合併浄化槽の設置につき一律30万円の補助を行っています。補助申請の受付は国の予算成立後に開始します。補助についての条件、手続きなど、詳しいことは左記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】
(本) 市 都市整備課 下水道係
☎(34) 6129
(総合支所) 地域企画課 地域振興係
☎(52) 1111



出典: 社団法人全国浄化槽団体連合会「合併処理浄化槽と上手につきあう方法」

土佐くろしお鉄道NEWS

サイクルトレインで楽しむ グルメフوائد幡多

土佐くろしお鉄道ではサイクルトレインで楽しむ「グルメフوائد幡多」を開催します。
「グルメフوائد」とは、自転車に乗ってサイクルリングと地元グルメを楽しむイベントです。
今回のイベントでは宿毛駅から窪川駅まで自転車をそのまま載せられるサイクルトレインを運行します。

■サイクルトレイン

宿毛駅↓平田駅↓中村駅
↓土佐入野駅↓土佐佐賀駅
↓窪川駅

■サイクルリング

窪川駅↓大正↓江川崎
↓中村(約100km)

■開催日程 4月14日(日)

・サイクルトレイン
宿毛駅発車: 7時15分
・サイクルリング
窪川駅出発: 9時30分

■参加費 4500円(鉄道運賃・昼食・保険代込)

■募集人員 40人

(最少催行人員20人)
※定員になり次第締め切り。

■参加資格等

高校生以上で、100kmを自転車で走れる自信のある人
参加自転車は変速機付きスポーツ車限定

■ヘルメット、手袋、前後ライト、予備チューブ必携

【問い合わせ・申込先】

土佐くろしお鉄道 中村駅
☎(35) 4961
ホームページ
<http://www.tosakuro.co.jp>

幡多地域観光キャンペーンイメージキャラクター募集

幡多地域観光キャンペーン実行委員会では、幡多地域観光キャンペーン(7月1日~12月31日)を推進するため、皆さんに愛されるイメージキャラクターを募集します。
イメージキャラクターは、幡多地域観光キャンペーンのシンボルとして、着ぐるみの制作やグッズ製作によるおみやげづくりを行い、幡多の観光振興や経済効果を高めることを目的とします。

- 募集内容 幡多地域をイメージさせ、明るく、親しみやすいキャラクター
- 賞品 最優秀賞 100,000円
- 締切日 4月19日(金)17時必着
- 対象者 どなたでも応募できます。
- 応募規定等
 1. 応募用紙に全体のわかるデザイン作品(カラー)
 2. 別紙の応募用紙に必要事項を記入の上、作品と合わせて応募先に提出(持参・郵送)してください。
 3. パソコン等で制作したデータの場合、データ入りのCD-Rと出力した用紙(A4サイズ)を提出(持参・郵送)してください。
 4. パソコンで制作したデータの出力形式は、JPGかPDFとします。
 5. お1人様1点に限り応募できます。
 6. 応募作品は、未発表でオリジナルのものに限ります。
 7. 応募作品は返却できませんのであらかじめご了承ください。
 8. 最優秀に選ばれた作品の著作権・商標権、一切の知的財産権は、「一般社団法人幡多広域観光協議会」に帰属します。
 9. 必要に応じ、修正等補正をする場合があります。
- ※応募用紙は市HPからダウンロードするほか、市観光課で配布します。
- 審査方法等
幡多地域観光キャンペーン実行委員会により審査し、幡多地域観光キャンペーンのオフィシャルホームページにて発表します。
※ホームページ仮オープンは、4月中旬を予定しています。

【問い合わせ・応募先】

〒787-0015 四万十市右山383-15 一般社団法人幡多広域観光協議会 イメージキャラクター応募係
☎(31)0233 FAX(31)0660 HP <http://www.hata-koiki.com/> E-mail: syuryo@hata-koiki.com

5月～9月各種スポーツ大会(市体育施設利用)

皆さんお誘いあわせのうえ、ぜひご観覧ください。(日程等が変更になる場合があります)

日 程	大会名	場 所
5/11(土)・12(日)	中央区中学校球技大会	安並アリーナ 他
5/12(日)～19(日)	幡多地区春季スポーツ大会	運動広場 他
5/19(日)	軟式野球国体幡多予選大会	四万十スタジアム
5/26(日)	四万十市体育協会長杯軟式野球大会	四万十スタジアム
〃	ミカサ杯ソフトバレーボール大会	安並アリーナ
6/8(土)・9(日)	中学校県総体幡多予選大会	安並アリーナ 他
6/9(日)	フジカップ家庭婦人バレーボール大会	安並アリーナ
6/16(日)	高松宮賜杯軟式野球1部予選大会	四万十スタジアム
〃	四万十市体育協会長杯バドミントン大会	安並アリーナ
7/7(日)	家庭婦人バレーボール夏季大会	安並アリーナ
〃	中村クリニック杯9人制女子バレーボール大会	具同体育センター
7/14(日)	四万十市体育協会長杯ミックスバレーボール大会	具同体育センター
7/21(日)	四万十市体育協会長杯ソフトバレーボール大会	安並アリーナ
8/17(土)・18(日)	幡多信用金庫理事長杯小学生野球大会	四万十スタジアム 他
8/18(日)	幡多総合武道大会	安並アリーナ
9/1(日)	幡多地区球技大会(卓球大会)	安並アリーナ
9/7(土)・8(日)	県高等学校バレーボール夏季大会	安並アリーナ
9/8(日)	幡多地区球技大会(サッカー、ソフトボール)	運動広場
〃	スカッシュバレーボール大会	具同体育センター
9/22(日)	高知県家庭婦人バレーボールいそじ大会	安並アリーナ 他
9/28(土)・29(日)	幡多地区中学校新人野球大会	四万十スタジアム 他

【問い合わせ先】(財)四万十市体育協会(市民スポーツセンター内) ☎(34)2071

図書館だより

平成25年
4
April

開館時間 9:00～18:00

問 市立図書館 ☎(35)2923

語り手 武田由紀さん
場所 市立図書館 おはなしの部屋
日時 4月28日(日) 午前10時30分～11時
対象 4歳以上

★ストーリーテリングとは、絵本や他の道具を使わず、語り手が昔話などのお話を語るのを聞いて楽しみます。くっつきひきこまれるお話の世界を感じてみませんか?
その関連行事として『ストーリーテリングおはなし会』を開催します。

★ストーリーテリングおはなし会★
4月23日～5月12日はこどもの読書週間です。
29日(日) 定休日
26日(金) 館内整理日
22日(月) 定休日
15日(月) 定休日
8日(月) 定休日
5月3日(金) 憲法記念日
4日(土) みどりの日
3日(金) 休日

赤と白
ガソリン生活
これが正解!ひとり暮らしスタートブック
夫婦格差社会
憤死
変
看取り先生の遺言
名作うしろ読み

榎木 理宇
伊坂 幸太郎
主婦の友社
橋本 俊詔
綿矢 りさ
莫言
奥野 修司
斎藤 美奈子

一般書

4月の新着図書(273冊)

イカとタコの大研究
かくれんぼどうぶつえん
チェロの木
つなひき
ドキドキ新学期
ノウサギとハリネズミ
虫のいどころ 人のいどころ
ようこそ ぼくのおともだち

土屋 光太郎
今森 光彦
いせ ひでこ
ジョン・バーニンガム
はやみね かおる
はた こうしろう
おの りえん
野中 柊

児童書／えほん

第10回 四万十川R/C水上フェスタ

日 時 4月27日(土) 9時～16時
 28日(日) 9時～16時
 29日(月・祝) 9時～15時

場 所 四万十川ポートコース(鍋島)

世界唯一のラジコン水上機の大会で、全国から参加者が集まって、自慢のテクニクを競い合います。

また、子供たちも楽しめるように、紙飛行機大会などのイベントや、第10回大会の記念イベントとして、実機水上飛行機のアトラクション飛行も予定しています。



問 (社)四万十市観光協会
 ☎(35)4171

催し

情報掲示板



四万十市スポーツ推進委員 募集

スポーツを推進するために、市民の求めに応じてスポーツの実技指導や、スポーツ活動促進のための組織の育成、また教育行政機関、スポーツ団体などの行う行事や事業に関して協力し、スポーツ推進のための指導助言等を行っていただくスポーツ推進委員を募集します。

任期 委嘱の日～平成27年3月31日

出務概要(抜粋)

- ・スポーツ推進委員会(年5回程度)
- ・四万十川リバーサイドフルウォーク(4月上旬)
- ・四万十川ウルトラマラソン(10月中旬)
- ・読売ロードレース(12月下旬) 他

身分 四万十市非常勤特別職員(出務日数に応じて月額報酬等が支給されます)

募集人員 6人

応募締切日 4月25日(木)

選考方法 書類審査、面接等を行い決定します

問 申 (市)教育委員会 社会体育課(市民スポーツセンター内)
 ☎(34)2071

募集

防犯メモ



還付金詐欺に注意しましょう

今年に入り、高知県内で医療費の還付金詐欺が発生しています。

- 手口 市役所や社会保険事務所の担当者を名乗り「通知書が届いていませんか？」などと電話をかけてきて、言葉巧みにATMに誘導し、操作を指示して相手の口座に振り込ませます。
- 対策 不審な電話があった場合は、一人で判断せず、家族や警察などに相談するとともに、必ず事実を確認してください。
- その他 高額被害も発生しています。ATMを操作して、還付金が振り込まれることは絶対にありません。今後、同種事案の発生が予想されますので、十分に注意してください。

【問い合わせ先】
 中村地区地域安全協会
 (中村警察署内)
 ☎(34)0110

催し

天神橋アーケード 春のおかみさんまつり

毎年天神橋商店街振興組合女性部が春・秋に開催している、おかみさんまつりを左記の日程で開催します。

当日は、お寿司・手作り菓子類・揚げ物・手作り小物・実演販売等を、天神橋アーケード内にて実施し、オープンカフェにてコーヒーやケーキ等も準備します。

また、当日お買い上げいただきスタンプ2個お持ちいただいたお客さまに、お花もしくは植物石鹸のプレゼントも用意していますので、ぜひ足をお運びください。心よりお待ちしております。

日 時 4月19日(金)、20日(土)
 10時～16時まで

主 場 所 天神橋アーケード内

駐 車 場 天神橋商店街振興組合女性部
 市役所、天神橋パーキング(無料)



問 天神橋商店街振興組合事務所(13時～17時)
 ☎(31)0680

24年度の市税の納め忘れはありませんか。今一度お確かめください。

奥屋内天然色堂「山茶つみ体験」

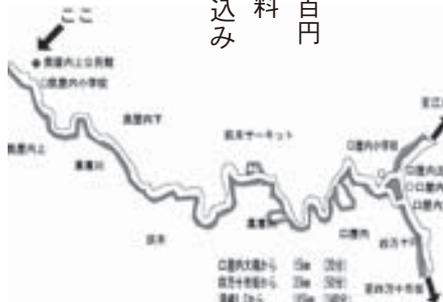
奥屋内上地区の住民グループ「かじや村の若衆会」主催のイベントです。
この地区に自生する山茶を摘んで・煎つて・揉んでのお茶づくり体験を行います。
お昼は、はがまで炊いたご飯、山菜のちらし寿司と天ぷら、しし汁、シカ肉串焼きなど地元食材たっぷりの田舎料理で奥屋内のおばちゃん、おんちゃん達が真心をこめたおもてなしをご用意しています。

日時 5月11日(土) 10時～15時
※雨天決行。一部内容を変更させていただきます場合があります。(雨具をご用意ください)

集合場所 奥屋内上公民館
内容 山茶づくり体験

もちつき【茶餅、白餅】体験(午後)ほか
※各自体験で作った山茶はお持ち帰りできます

募集人数 30人
参加費 大人3千円
小学生1千5百円
小学生未満 無料
※保険料・昼食代込み
申込締切 5月7日(火)



問 西土佐体感ツーリズム事務局
☎(31)6474 FAX(31)6475

平成25年度 いきいきクラブ会員募集

四万十市スポーツ推進委員会では、皆さんが健康でいきいきとした生活が送れるよう、「楽しい人生は健康から」をテーマに「いきいきクラブ」を開催します。
体力は年齢とともに落ちてきます。体力を維持するには、運動を続けることが大切です。
ダンスやゲームなどをしながら、楽しく運動をしてみませんか。

期 間 平成25年5月13日(月)～平成26年3月中旬
(8月、1月は休み)
日 程 毎週月曜日(祝日除く) 13時30分～15時30分
場 所 安並スポーツセンターほか
内 容 準備運動
体をほぐし、けがの無いよう柔らかい体にします。
いきいき体操
動くことを楽しんで、転倒しにくい体になります。
ダンスやゲームなど
仲間と楽しみながら体力をつけていきます。
・ミニテニールツアー
郊外に出て、ウォーキングをします。(月1回程度)
※スポーツ推進委員がお手伝いします。
募集期間 4月4日(木)～25日(木)
定員 70人(先着順)
参加料 無料
※ただしスポーツ安全保険料が必要です。
64歳以下:1850円、65歳以上:1000円
(平成26年3月31日まで有効)
申込方法 下記まで直接もしくは電話でお申し込みください。

問 (市)教育委員会 社会体育課(安並スポーツセンター内)
☎(34)2071

スポーツ吹矢教室

スポーツ吹矢は、運動効果だけではなく、精神集中や血行促進・細胞の活性化にも役立つ。年齢を問わずゲーム感覚で楽しめ、健康アップできるのが「スポーツ吹矢」です。

日時 5月12日、19日、26日(3回) 14時～15時
場 所 市民スポーツセンター 武道場
対象者 年齢不問
参加料 500円(マウスピース代金)
定員 先着10人
受付期間 4月15日(月)～5月9日(木)
申込方法 電話で申し込みください。
講師 佐田昭一郎
(高知県スポーツ吹矢協会四万十支部)

※運動のできる軽装・室内シューズをご用意ください。(用具は用意します)

第13回 幡多ふれあい医療公開講座

教室・講座
日時 4月14日(日) 13時30分～(開場13時)
場 所 市立中央公民館大ホール
演 題 「うつ病からの回復・体の病気とうつ病」
三浦星治(聖ヶ丘病院院長)
「認知症の最近の治療について」
吉本啓一郎(渡川病院院長)
参加費 無料、どなたでも参加できます

問 幡多けんみん病院(経営企画課) ☎0880(66)2222
(市)保健介護課 ☎(34)1823

問 (財)四万十市体育協会(安並スポーツセンター内)
☎(34)2071

土佐一條公家行列「藤祭り」 行列参加者募集

募集

市の春の観光シーズンを彩るイベントとして、小京都中村の歴史にちなんだ衣装で延べ170人が、市内を練り歩きます。それぞれ役割に応じた色とりどりの衣装を身にまとい、行列に参加しませんか。

開催日 5月3日(金)

場所 一條神社から市の中心市街地を回るルート

募集人数 130人

応募資格 小学生〜大人

申込締切 4月15日(月)



土佐一條公家行列「藤祭り」実行委員会事務局
(中村商工会議所内)
☎(34)4333(担当:福留・井口)

働く婦人の家講座「和裁」

教室・講座

日程 5月13日〜8月26日の間で7月15日を除く毎週月曜日(全15回)

時間 19時〜21時30分

※講師の都合により日程が変更になる場合がありますのでご了承ください。

場所 働く婦人の家 2階 和室

講師 中島京子

対象 市内に居住または勤務する女性

定員 10人

受講料 無料

作製するもの 女性用ゆかた

用意するもの 女性用ゆかた反物(綿)、糸、針、ヘア、チャコ、ものさし(クジラサシ)

申込期間 4月15日(月)〜

申込方法 本人に限り窓口・電話で受付
(9時〜17時15分) / 12時〜13時、土、日、祝日を除く

※定員になり次第締め切り

働く婦人の家
☎(34)6299

第15回 竹屋敷あめごまつり

催し

日時 4月28日(日) 8時〜

※河川増水時は5月12日(日)

場所 旧竹屋敷小中学校および周辺

内容

- ・あめご釣り
- ・あめごつかみどり(幼児・小学生対象)
- ・飲食・物産コーナー

参加料

- ・あめご釣り(エサ代込)
- ・大人:3千円、中学生以下:1千円
- ・あめごつかみどり
- ・幼児:無料、小学生:500円



竹屋敷活性化協議会(佐竹)
☎090-8697-4299(昼) ☎(32)1852(夜間)

四万十川びらきと春の感謝祭 in 西土佐

催し

「今シーズンも四万十川で思いっきり遊ぼう!」
四万十の川びらきシーズン到来!
自然を満喫できるカヌーや屋形船など、親子で楽しめる体験コーナーがいっぱい!
四万十川流域のうまいもの・手作りものを沢山集めた春の感謝祭を同時開催します。

日時 4月20日(土) 10時30分〜15時

※悪天候の場合中止することがあります

場所 西土佐ふるさと市周辺

内容

- ・カヌー、屋形船無料体験
- ・沈下橋目指してサイクリング
- ・親子でできるワークショップ、ツアーなど
- ・水切り選手権大会〜おとな、こども部
- ・春の感謝祭〜四万十川流域のうまいもの、手作りもの

入場料 無料

主催 四万十川びらき実行委員会

四万十・川の駅 カヌー館 ☎(52)2121
<http://www.canoekan.com>

四万十市雇用創造促進協議会 4月開催講座

募集種目	日時	場所	内容	講師	募集期間
◆高付加価値農産物生産計画・技術力向上研修	4月24日(水) 14:00~17:00 4月25日(木) 9:00~12:00	実地研修 銅島圃場 (集合:あぐりっこ研修センター)	・播種と定植 ※天候や圃場の状況で内容変更の可能性あり	山下 一穂氏 (有機のがっこう「土佐自然塾」塾長)	4月8日(月)~23日(火)

四万十市雇用創造促進協議会 ☎(34)9570 FAX(34)9571
ホームページ <http://www.shimanto-koyo.com/>

ご不明な点がございましたら、左記までお問い合わせの上お申し込みください。応募者多数の場合は先着順になります。

定期相談所

	日時	場所	相談内容	問い合わせ先
行政相談所	4月19日(金) 13時~16時	社会福祉センター	国や県、市の仕事に対する苦情や要望 《相談委員》正木 卓夫 ☎(37)2560 平石眞理子 ☎(35)4250	(本庁)総務課 ☎(34)1804
無料農業経営相談	4月25日(木)	JA高知はた本所 3階	農業に関する借入相談、経営全般に関する悩みなどの相談(要事前申込)	日本政策金融公庫高知支店 農林水産事業 ☎088(825)1091

四万十川学遊館

イベントのお知らせ

ゴールデンウィークのトンボ王国では、30種近くのトンボが飛び交い、数万株のカキツバタやスイレンを始めとする初夏の花が見ごろを迎え、楽しいイベントも盛りだくさんです。

ぜひ、春のトンボ王国へお越しください。

巨大魚&古代魚キッズ展

普段はほとんど目にする事がない大形種(成魚全長サイズ50cm)の幼魚約10種を中型水槽6基で紹介します。
期間 5月26日(日)まで

トンボ・カードさがし

四万十川学遊館あきついお前庭に隠されているトンボ・カードを探し当てると、それぞれのランクに応じた賞品をプレゼントします。
日程 5月5日(日)
対象者 入館者のうち小学生以下

対象者 入館者のうち小学生以下

ネイチャーフォト研究会作品発表展示会

自然とカメラ好きの人たちによる作品発表展示会。野鳥、昆虫、野草など、野生生物を美しく捉えたA3サイズの生写真64点を展示します。
期間 5月26日(日)まで

メダカ・アメリカザリガニすくい(常時開催)

四万十川学遊館に入館された小学生以下を対象に、トンボ王国産メダカやアメリカザリガニを金魚すくいのポイですくいます。メダカは2尾まで、アメリカザリガニは1匹まで持ち帰れます。

※ただし、2回目からは1回100円となります。

問 公益社団法人トンボと自然を考える会

☎(37)4110

オリジナル

「ひまわり」Tシャツを作ろう!

クレヨンや絵具・ビーズなどを使ってオリジナルの「ひまわり」Tシャツを作ってみませんか?
お子さまから大人まで、楽しんで作成することが出来ます!

開催日 5月4日(土) 10時~14時

場所 天神橋商店街アーケード内

参加費 1000円(材料費含む) / 枚

申込締切 4月15日(月)

申込方法 お名前・ご連絡先・参加人数・希望サイズを

そえて先まで申してください。

※当日飛び入り参加も可能ですが、希望するTシャツのサイズがない場合があります

てんじんばし「ひまわり作品展」

昨年放送されたドラマ「運咲きのヒマワリ」にちなんで、天神橋商店街ではひまわりの作品展を開催します。会場には、ドラマの出演者さんのサインなども展示しています。

入場無料ですので、たくさんの方のご来場をお待ちしています。

※4月15日まで、作品も受付中です。絵や写真以外(手芸品・編み物や貼り絵など)でもOKです。

期間 4月19日(金)~5月6日(月) 10時~17時

場所 天神橋商店街チャレンジショップ横

【問い合わせ・申込先】

天神橋商店街振興組合事務局

☎・FAX(31)0280(平日13時~17時)

市民のひろば

幡多ーT実践会 四国コンテンツ映像 フェスタ2012で 優秀賞を受賞

映像(動画)コンテンツを切り口に地域活性化を目指して活動している、幡多ーT実践会(会長・毛利仁人)がこのほど「四国コンテンツ映像フェスタ2012」において、優秀賞を受賞しました。

これは平成24年度の市からの委託事業(緊急雇用創出臨時特例基金事業)において、市のプロモーション映像を撮ったものが受賞対象作品となったもので、全応募作品63作品のうち6作品(最優秀賞2作品、優秀賞3作品、特別賞1作品)の中に選ばれました。

3月12日には松山市において授賞式とコンテンツセミナーが行われ、幡多ーT実践会のメンバーが出席し、喜びの傍ら、より高い技術を習得できるように決意を新たにしました。



(投稿:幡多ーT実践会)

